

**看護師の臨床判断能力と影響要因に関する調査
報告書**

令和8年3月

公益社団法人 日本看護協会

目次

I. 調査の概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査対象	4
3. 調査方法	4
4. 調査内容(詳細は質問紙参照)	4
5. 調査期間	4
6. 回収状況	4
7. 本文中の表記について	4
8. 設問の構成について	5
II. 調査結果	6
1. 単純集計	6
1) 回答者の属性	6
(1) 年齢	6
(2) 日本看護協会への入会状況	6
(3) 取得免許	7
(4) 通算臨床経験年数	7
(5) 教育背景	8
(6) 教育・研修修了／認定資格取得状況	9
(7) 学習活動の状況	10
(8) 就業状況	11
2) 看護師の臨床判断や対応	14
(1) 事例 1	14
(2) 事例 2	16
(3) 事例 3	19
(4) 事例 4	21
3) 看護実践に対する自己評価	22
2. 看護実践の自己評価別の看護師の臨床判断や対応	24
3. 属性別の看護師の臨床判断や対応	29
1) 大学院修了状況別	29
2) 教育・研修修了／認定資格取得状況別	34
(1) 教育・研修修了／認定資格取得状況別	34
(2) 認定看護師における特定行為研修修了状況別	39
3) 学習活動の機会	43
(1) 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか	43
(2) 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか	49
4) 勤務先別	55
4. 属性別の看護実践の自己評価	61
1) 通算臨床経験年数別	61

2) 大学院修了状況別.....	62
3) 教育・研修修了／認定資格取得状況別.....	63
(1) 教育・研修修了／認定資格取得状況別	63
(2) 認定看護師における特定行為研修修了状況別.....	63
4) 学習活動の状況別.....	64
(1) 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか.....	64
(2) 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか.....	65
5) 勤務先別.....	66
III. 統計表.....	67
IV. 質問紙.....	76

1. 調査の概要

1. 調査の目的

看護師の臨床判断能力とその影響要因を把握するとともに、今後さらに国民のニーズに応える看護師を育成・確保していくための方策を検討するための基礎資料とする。

2. 調査対象

現在患者/利用者への看護実践を行っているあらゆる場の看護師

※看護実践とは、看護職が対象に働きかける行為であり、看護業務の主要な部分を成すもの
(日本看護協会「改訂版 看護にかかわる主要な用語の解説」)

3. 調査方法

- ・ ウェブを用いた無記名自記式質問紙調査
- ・ 回答者が本調査専用サイトにアクセスし、回答した。

4. 調査内容（詳細は質問紙参照）

- ・ 基本属性（年齢、日本看護協会入会状況、取得免許、通算臨床経験年数、教育背景、就業状況）
- ・ 看護師の臨床判断や対応に関する設問
- ・ 看護実践の自己評価に関する設問

5. 調査期間

2025年6月16日（月）～7月15日（火）

6. 回収状況

回収数 6,086 有効回答数 6,023

- ・ 回収 6,086 件のうち、取得免許に「看護師」の回答がなかった 63 件は、集計対象から外した。
- ・ 本調査の対象は「現在患者/利用者への看護実践を行っているあらゆる場の看護師」であることを示して回答者を募ったため、勤務先を「看護系教育研究機関」または職位を「管理職（主任、看護師長、看護部長、所長、施設長等）」とした回答者についても、現在患者/利用者への看護実践を行っているものとして集計に含めた。

7. 本文中の表記について

- ・ 回答率（各回答の百分比）は、小数点第 2 位を四捨五入した。そのため、回答率の合計値が 100.0 にならない場合がある。
- ・ 平均値は「無回答」を除いて算出している。
- ・ 当てはまるものすべてについて回答を求めた設問は、「複数回答」と記した。

- ・ 本文、図表、統計表で用いた記号の意味は以下の通りである。
n：その設問に対する回答者数であり、比率算出の基数である。
統計表中の「-」：計数がない（回答者がいない）ことを示す。
統計表中の「0.0」：計数はあるが、四捨五入により0である場合を示す。
- ・ 「教育・研修修了／認定資格取得状況」と、看護師の臨床判断や対応及び看護実践の自己評価に関するクロス集計表においては、回答者1名につき1つの「患者への看護実践に関する教育・研修／認定資格」（認定看護管理者を除く）となるよう再集計した値を用いた。その際、「専門看護師」と「NP教育課程修了者」の両方に該当した2名はいずれの群にも含めたため、合計回答数は6,025となっている。

8. 設問の構成について

- ・ 看護師の臨床判断や対応に関する設問については、事例を作成した。臨床判断の評価に用いられるラサター臨床判断ルーブリック（Lasater, 2007）を基に、看護師が臨床現場で遭遇する機会の多い4つの事例を用いて選択形式で、回答者が通常行っている判断や対応を尋ねた。事例及び選択肢の作成に際し、看護教育や様々な領域における臨床の専門家、研究者等を含む有識者と協議を重ねた。
- ・ 看護実践の自己評価については、「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」（舟島ら, 2009）を使用した。

※本調査においては、病院領域以外の看護師も対象に含むプレテストを行った。

II. 調査結果

1. 単純集計

1) 回答者の属性

(1) 年齢

回答者を年齢別にみると、「40～49 歳」が最も多く 33.7%、次いで「50～59 歳」29.7%であった。平均は 44.5 歳であった。

表 1 年齢

	件数	%
20～29 歳	774	12.9
30～39 歳	1,038	17.2
40～49 歳	2,029	33.7
50～59 歳	1,789	29.7
60 歳以上	374	6.2
無回答	19	0.3
計	6,023	100.0
平均 (n=6,004)		44.5 歳

(2) 日本看護協会への入会状況

日本看護協会への入会状況を尋ねたところ、「会員である」が 91.9%であった。

表 2 日本看護協会への入会状況

	件数	%
会員である	5,533	91.9
会員ではない	459	7.6
無回答	31	0.5
計	6,023	100.0

(3) 取得免許

取得している免許を尋ねたところ、「看護師」の他には、「保健師」が最も多く 15.0%であった。

表 3 取得免許（複数回答、n=6,023）

	件数	%
保健師	901	15.0
助産師	119	2.0
看護師	6,023	100.0
准看護師	388	6.4

(4) 通算臨床経験年数

看護師としての通算臨床経験年数を尋ねたところ、「30年目以上」が最も多く 24.4%、次いで「20～24年目」18.4%、「25～29年目」16.1%であった。平均は 21.2 であった。

表 4 通算臨床経験年数

	件数	%
1年目	146	2.4
2～5年目	462	7.7
6～9年目	371	6.2
10～14年目	667	11.1
15～19年目	819	13.6
20～24年目	1,107	18.4
25～29年目	968	16.1
30年目以上	1,470	24.4
無回答	13	0.2
計	6,023	100.0
平均 (n=6,010)		21.2年目

(5) 教育背景

① 看護師基礎教育を受けた学校種別

看護師基礎教育を受けた学校種別を尋ねたところ、「看護師養成所」が最も多く 52.9%、次いで「大学」20.5%であった。

表 5 看護師基礎教育を受けた学校種別

	件数	%
看護師 2 年課程	897	14.9
看護短期大学	547	9.1
看護師養成所	3,189	52.9
看護師 5 年一貫教育校	150	2.5
大学	1,233	20.5
無回答	7	0.1
計	6,023	100.0

② 大学院修了状況

大学院修了の有無を尋ねたところ、「なし」が最も多く 80.4%、次いで「大学院修士課程（看護系）」12.7%であった。

表 6 大学院修了の有無（複数回答、n=6,023）

	件数	%
なし	4,852	80.6
大学院修士課程（看護系）	766	12.7
大学院修士課程（看護系以外）	98	1.6
大学院博士課程（看護系）	36	0.6
大学院博士課程（看護系以外）	13	0.2
無回答	312	5.2

(6) 教育・研修修了／認定資格取得状況

教育・研修修了／認定資格取得状況を尋ねたところ、「認定看護師」が最も多く 44.3%、次いで「なし」 36.3%であった。

表 7-1 教育・研修修了／認定資格取得状況（複数回答、n=6,023）

	件数	%
専門看護師	376	6.2
認定看護師	2,669	44.3
認定看護管理者	441	7.3
特定行為研修修了者	1,331	22.1
NP 教育課程修了者	141	2.3
なし	2,189	36.3

上記のうち認定看護管理者を除いた「患者への看護実践に関する教育・研修修了／認定資格取得状況」を、回答者 1 名につき 1 教育・研修／認定資格となるよう再集計した^{*1,2}。再集計の結果、「認定看護師」が最も多く 43.2%、次いで「なし」 42.4%であった。

表 7-2 患者への看護実践に関する教育・研修修了／認定資格取得状況（単一回答に再集計）

	件数	%
専門看護師	376	6.2
認定看護師	2,603	43.2
特定行為研修修了者	351	5.8
NP 教育課程修了者	141	2.3
なし	2,554	42.4
計	6,025	100.0

※1 複数回答の場合は、以下の処理を行った。

・大学院教育である「専門看護師」と「NP 教育課程修了者」と回答した者は、他の選択肢の回答有無にかかわらず、「専門看護師」あるいは「NP 教育課程修了者」として集計した。ただし「専門看護師」と「NP 教育課程修了者」の両方に該当した 2 名はどちらにも含めた。

・「認定看護師」と「特定行為研修修了者」の両方を回答していた場合には、「認定看護師」として集計した。

※2 「認定看護管理者」のみ選択した回答者は、「なし」として集計した。

(7) 学習活動の状況

① 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか

実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会をもっているかを尋ねたところ、「やや当てはまる」が最も多く 33.4%、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」、「どちらかという当てはまる」を合わせると 80.0%であった。

表 8 同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか

	件数	%
非常に当てはまる	892	14.8
やや当てはまる	2,011	33.4
どちらかという当てはまる	1,914	31.8
どちらかという当てはまらない	710	11.8
ほとんど当てはまらない	389	6.5
全く当てはまらない	95	1.6
無回答	12	0.2
計	6,023	100.0

② 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか

主体的に自己研鑽の目標と計画を決めているかを尋ねたところ、「やや当てはまる」が最も多く 37.6%、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」、「どちらかという当てはまる」を合わせると 84.4%であった。

表 9 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか

	件数	%
非常に当てはまる	1,095	18.2
やや当てはまる	2,263	37.6
どちらかという当てはまる	1,724	28.6
どちらかという当てはまらない	646	10.7
ほとんど当てはまらない	211	3.5
全く当てはまらない	62	1.0
無回答	22	0.4
計	6,023	100.0

(8) 就業状況

① 現在の勤務先

勤務先は、「病院」が最も多く 89.1%、次いで「訪問看護ステーション」4.6%であった。

表 10 現在の勤務先

	件数	%		件数	%
病院	5,366	89.1	ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム	11	0.2
診療所	83	1.4	その他の居宅サービス事業所	14	0.2
訪問看護ステーション	280	4.6	その他の社会福祉施設	22	0.4
学校・幼稚園・保育所	4	0.1	看護系教育研究機関 (養成所、大学等)	68	1.1
介護老人福祉施設	29	0.5	その他	75	1.2
介護老人保健施設	71	1.2	計	6,023	100.0

② 病院勤務者の所属施設の状況

回答者のうち、病院勤務者 (n=5,366) の所属施設の状況についてみると、病院設置主体は、「公立（一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む）」が最も多く 27.7%であった。病床数は「500床以上」が最も多く 38.9%であった。

表 11 病院設置主体【病院勤務者対象】

	件数	%
国立(労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構を含む)	778	14.5
公立(一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む)	1,486	27.7
日本赤十字社	222	4.1
済生会	331	6.2
厚生農業協同組合連合会	158	2.9
北海道社会事業協会	2	0.0
社会保険関係団体	114	2.1
公益社団法人、公益財団法人	243	4.5
私立学校法人	820	15.3
医療法人(社会医療法人を含む)	906	16.9
社会福祉法人	57	1.1
医療生協	32	0.6
会社	53	1.0
その他の法人(一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等)	147	2.7
個人	6	0.1
無回答	11	0.2
計	5,366	100.0

表 12 病床数【病院勤務者対象】

	件数	%
99 床以下	163	3.0
100～199 床	702	13.1
200～299 床	733	13.7
300～399 床	922	17.2
400～499 床	734	13.7
500 床以上	2,088	38.9
無回答	24	0.4
計	5,366	100.0

③ 勤務先の所在する都道府県

勤務先の所在する都道府県は、「東京都」が最も多く 7.6%、次いで「神奈川県」6.8%、「大阪府」6.2%であった。

表 13 勤務先の所属する都道府県

	件数	%		件数	%		件数	%
北海道	246	4.1	石川県	56	0.9	岡山県	87	1.4
青森県	44	0.7	福井県	42	0.7	広島県	127	2.1
岩手県	52	0.9	山梨県	40	0.7	山口県	46	0.8
宮城県	70	1.2	長野県	171	2.8	徳島県	57	0.9
秋田県	34	0.6	岐阜県	314	5.2	香川県	35	0.6
山形県	44	0.7	静岡県	229	3.8	愛媛県	76	1.3
福島県	132	2.2	愛知県	305	5.1	高知県	23	0.4
茨城県	76	1.3	三重県	76	1.3	福岡県	369	6.1
栃木県	125	2.1	滋賀県	124	2.1	佐賀県	27	0.4
群馬県	114	1.9	京都府	82	1.4	長崎県	55	0.9
埼玉県	156	2.6	大阪府	374	6.2	熊本県	70	1.2
千葉県	269	4.5	兵庫県	180	3.0	大分県	77	1.3
東京都	456	7.6	奈良県	105	1.7	宮崎県	97	1.6
神奈川県	409	6.8	和歌山県	83	1.4	鹿児島県	126	2.1
新潟県	53	0.9	鳥取県	31	0.5	沖縄県	45	0.7
富山県	59	1.0	島根県	43	0.7	無回答	112	1.9
						計	6,023	100.0

④ 職位

職位は、「管理職」が 44.3%、「非管理職」が 55.7%であった。

表 14 職位

	件数	%
管理職(主任、看護師長、看護部長、所長、施設長等)	2,669	44.3
非管理職	3,354	55.7
計	6,023	100.0

2) 看護師の臨床判断や対応

(1) 事例 1

Mさん、94歳、女性

入院までの経緯

- ・5年前に認知症グループホームに入居。
- ・歩行器を使用し歩行可能であったが、転倒し腰椎圧迫骨折。
- ・保存療法が選択され、本日、リハビリ目的で入院。

既往歴：高血圧（20年前から内服治療）、脂質代謝異常症、便秘症、アルツハイマー型認知症

入院時持参した内服薬：

酸化マグネシウム錠	330 mg	2錠	毎食後
ニフェジピン除放錠	20 mg	1錠	朝食後
バルサルタン錠	80 mg	1錠	朝食後
アトルバスタチン錠	10 mg	1錠	朝食後
ランソプラゾール口腔内崩壊錠	15mg	1錠	夕食後
抑肝散エキス顆粒	2.5g/包	1包	毎食前
トリアゾラム錠	0.25mg	2錠	寝る前

① 事例 1-Q1 「まずあなたが行う対応をすべて選んでください」

「自身のアセスメント結果を他職種（医師・薬剤師）と共有する」が最も多く 62.5%、次いで「グループホームの職員に内服状況を確認する」62.2%、「内服薬による副作用がないかどうか、患者の状態を確認する」60.5%であった。

表 15 事例 1-Q1（複数回答、n=6, 023）

	件数	%
薬剤師又は薬剤部に対応を任せる	2,177	36.1
医師に対応を任せる	906	15.0
持参薬を一つひとつ調べ、なぜ内服しているかをカルテ等から情報収集する	3,565	59.2
グループホームの職員に内服状況を確認する	3,749	62.2
内服薬による副作用がないかどうか、患者の状態を確認する	3,645	60.5
内服薬による副作用がないかどうか、血液検査結果値を確認する	2,666	44.3
内服薬における薬剤の相互作用を確認する	2,208	36.7
自身のアセスメント結果を他職種（医師・薬剤師）と共有する	3,766	62.5
その他	236	3.9
無回答	29	0.5

② 事例 1-Q2 「あなたが行うアセスメントをすべて選んでください」

「血圧の状況」が最も多く 95.8%、次いで「排便の状況」93.4%、「睡眠の状況」92.6%であった。

表 16 事例 1-Q2 (複数回答、n=6,023)

	件数	%
血圧の状況	5,772	95.8
排便の状況	5,627	93.4
血清マグネシウムの検査の必要性 (医師と相談)	2,380	39.5
コレステロール値	2,835	47.1
怒りっぽさや不穏症状など	5,102	84.7
起床時の意識レベルやふらつきの有無	5,036	83.6
睡眠の状況	5,579	92.6
消化器症状の有無	4,203	69.8
その他	543	9.0
無回答	27	0.4

(2) 事例 2

Yさん、48歳、女性

- ・入院目的：乳がんのため右乳房摘出術（乳房切除術）を施行予定。

過去に手術を受けたことはない。

【術前】バイタルサイン：BT=36.6℃、PR=60回/分、BP=124/84mmHg、RR=14回/分、SpO2=98%

【術後（現在）】

- ・昨日手術（術後1日目）。
- ・訴え：朝から頭痛を訴えている。
「ズキズキするような痛み」と表現。

痛みの程度はNRS（Numerical Rating Scale）で8/10。

- ・バイタルサイン：BT=36.8℃、PR=66回/分、BP=130/84mmHg、RR=16回/分、SpO2=99%

① 事例 2-Q1「あなたが収集する情報をすべて選んでください」

「頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況」が最も多く 95.0%、次いで「随伴症状の有無」94.9%であった。

表 17 事例 2-Q1（複数回答、n=6,023）

	件数	%
頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況	5,724	95.0
随伴症状の有無	5,718	94.9
術中の麻酔の種類、使用薬剤	4,631	76.9
現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	3,844	63.8
喫煙歴	1,846	30.6
妊娠歴	951	15.8
手術部位の状態（観察）	4,622	76.7
その他	609	10.1
無回答	27	0.4

② 事例 2-Q2 「あなたのアセスメントとして該当するものをすべて選んでください」

Yさんのバイタルサインは術後から現在まで安定している。患者は頭を押さえ、苦悶の表情を浮かべている。

- ・麻酔方法：全身麻酔下での手術。硬膜外麻酔や脊椎麻酔は使用されていない。
- ・術後管理：術後の水分摂取が少ない。
- ・頭痛は入院前から月一回程度あり、ロキソプロフェン Na 錠内服で対応。
- ・入院前まで喫煙（20年間×20本/日）している。
- ・痛みの部位：前頭部を中心とした全体的な痛み。
- ・体位との関連：座位や立位で悪化し、横になると軽減する。
- ・随伴症状：軽い吐き気を伴うが嘔吐なし。光や音に対する過敏感はない。

上記を示した上で尋ねたところ、「麻酔による頭痛の可能性がある」が最も多く 66.2%、次いで「入院前からの頭痛が術後に出現した可能性のある」65.0%であった。

表 18 事例 2-Q2（複数回答、n=6,023）

	件数	%
現段階で急変の可能性はかなり低い	1,560	25.9
入院前からの頭痛が術後に出現した可能性のある	3,912	65.0
麻酔による頭痛の可能性のある	3,985	66.2
喫煙歴による頭痛の可能性のある	1,954	32.4
今後の生活への不安等の影響による頭痛の可能性のある	1,802	29.9
その他	745	12.4
無回答	45	0.7

- ③ 事例 2-Q3 「アセスメントに基づくあなたの対応をすべて選んでください。なお、Y さんには『疼痛時：ロキソプロフェン Na 錠 60mg 内服』の指示が出ています」

「水分摂取を促す、深呼吸を繰り返す、枕の高さを調整するなど、薬剤以外の頭痛緩和の方法を患者に伝える」が最も多く 77.1%、次いで「疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン Na 錠を投与するか医師に確認する」42.6%であった。

表 19 事例 2-Q3 (複数回答、n=6, 023)

	件数	%
ロキソプロフェン Na 錠を投与する前に医師に相談する	1,773	29.4
疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン Na 錠を投与する	2,181	36.2
疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン Na 錠を投与するか医師に確認する	2,563	42.6
水分摂取を促す、深呼吸を繰り返す、枕の高さを調整するなど、薬剤以外の頭痛緩和の方法を患者に伝える	4,642	77.1
その他	333	5.5
無回答	38	0.6

- ④ 事例 2-Q4 「医師に確認し、ロキソプロフェン Na 錠 60mg を投与した。投与後のあなたの対応方法とタイミングとして該当するものをすべて選んでください」

【方法】については「痛みの程度をスケールで確認する」が最も多く 93.2%、【タイミング】については「薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する」が最も多く 67.6%であった。

表 20 事例 2-Q4 (複数回答、n=6, 023)

	件数	%
【方法】痛みが軽減されたか否かを聞く	5,113	84.9
【方法】患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	4,455	74.0
【方法】痛みの程度をスケールで確認する	5,616	93.2
【タイミング】次のラウンド時に痛みの程度を確認する	2,356	39.1
【タイミング】薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する	4,070	67.6
その他	282	4.7
無回答	36	0.6

(3) 事例 3

- ・ S さん、84 歳、女性
- ・ 昨日入院し、本日、右下肢の深部静脈血栓（DVT）に対し、下大静脈フィルター（IVC フィルター）留置術を受けた
- 【術前】バイタルサイン：BT=36.4℃、PR=72 回/分、BP=142/80mmHg、RR=16 回/分、SpO2=96%
見当識障害もなく受け答えも的確
- 【術後（現在）】バイタルサイン：BT=35.8℃、PR=92 回/分、BP=90/60mmHg、RR=20 回/分、SpO2=95%
「自分は叔母の家にいる」などの辻褄の合わない発言が聞かれた
尿道留置カテーテル挿入中
人工呼吸器の使用や酸素投与、静脈留置カテーテル挿入はなし

① 事例 3-Q1 「バイタルサインに加え、あなたが行うアセスメントをすべて選んでください」

「せん妄か否かを確認する」が最も多く 93.6%、次いで「投与されている薬剤を確認する」81.7%であった。

表 21 事例 3-Q1（複数回答、n=6,023）

	件数	%
意識レベルを確認する	4,885	81.1
せん妄か否かを確認する	5,640	93.6
デンバー式発達スクリーニング検査を行う	313	5.2
投与されている薬剤を確認する	4,919	81.7
IVC フィルターの穿刺部位の状況を確認する	4,347	72.2
尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する	3,686	61.2
頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う	3,414	56.7
直近の血液検査データを確認する	3,813	63.3
その他	283	4.7
無回答	39	0.6

② 事例 3-Q2 「IVC フィルターの穿刺部位からの出血は見られなかった。この患者へのあなたの対応をすべて選んでください」

「環境整備をする」が最も多く 73.0%、次いで「次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する」47.2%、「すぐに医師に報告する」43.3%であった。

表 22 事例 3-Q2 (複数回答、n=6, 023)

	件数	%
すぐに医師に報告する	2,605	43.3
次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する	2,842	47.2
環境整備をする	4,396	73.0
静脈留置カテーテル挿入の準備をする	1,423	23.6
医師に血液検査の必要性について確認する	2,244	37.3
医師に血液培養検査の必要性について確認する	670	11.1
その他	522	8.7
無回答	64	1.1

③ 事例 3-Q3 「Q1 のアセスメント及び Q2 の対応に至った理由をすべて選んでください」

「高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の 1 つであるから」が最も多く 89.9%、次いで「高齢であることは術後せん妄のリスク要因の 1 つであるから」87.7%、「高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから」50.9%であった。

表 23 事例 3-Q3 (複数回答、n=6, 023)

	件数	%
高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の 1 つであるから	5,413	89.9
高齢であることは術後せん妄のリスク要因の 1 つであるから	5,285	87.7
せん妄の原因の 1 つとして、感染の可能性が挙げられるから	2,653	44.0
高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	3,066	50.9
感染のリスクが高い状態にあるから	2,053	34.1
その他	384	6.4
無回答	47	0.8

(4) 事例 4

- ・ K さん、84 歳、女性、独居
- ・ 関節リウマチによる炎症が強く、自宅内では介助がなければほとんど歩けない状態
- ・ 日中はリビングの椅子に座って 1 日を過ごしている
- ・ 内服薬：ロキソプロフェン Na 錠 60 mg を 3 回/日、メトトレキサート錠 12mg /週 1 回、葉酸錠 1 mg/週 1 回
- ・ 握力の低下のため、自助具を用いて内服や飲水をしていることについて、「薬を飲むことはつらい。以前はできていたことができなくなったように感じる。」と発言している
- ・ 病状に応じた内服薬の投与量の調整が必要となるため訪問看護が開始
- ・ 主治医は K さんにメトトレキサートからアダリムマブ（遺伝子組換え）（生物学的製剤・2 週に 1 回の皮下注射）に変更することを提案
- ・ これまで薬剤を何とか調整してきたが、急に注射薬に変更することを提案され、意思決定ができない、何をどのように考えたらよいかかわからず、訪問看護師に相談することとした。

① 事例 4-Q1 「あなたが K さんを訪問した際、主治医からの薬剤変更の提案をどう考えたらよいか聞かれた。あなたの回答をすべて選んでください」

「内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える」が最も多く 84.6%、次いで「薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める」66.9%であった。

表 24 事例 4（複数回答、n=6, 023）

	件数	%
薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	4,031	66.9
かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	2,648	44.0
ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	2,457	40.8
内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	5,096	84.6
生物学的製剤の副作用について説明する	2,543	42.2
自己負担額が今までより増えることを伝える	1,480	24.6
その他	578	9.6
無回答	52	0.9

3) 看護実践に対する自己評価

舟島ら¹⁾が開発した 7 下位尺度 35 項目で構成される「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」を用いた。各項目について「かなり当てはまる (5 点)」から「全く当てはまらない (1 点)」の 5 段階で回答された結果を、7 つの下位尺度毎に合計して得点を算出するとともに、各下位尺度の得点を合計して全体の総得点を算出する。得点が高いほど、看護実践の卓越性の程度が高いことを示す。

(参考) 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」各下位尺度に含まれる質問項目

下位尺度	対応質問項目
下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	1～5
下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	6～10
下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	11～15
下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	16～20
下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	21～25
下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	26～30
下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割発見と同時進行】	31～35

「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」の平均総得点は 134.4 であった。総得点の領域で見ると、「中得点領域」が最も多く 55.4%、次いで「高得点領域」33.6%であった。

表 25 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」の得点 (n=5,675)

	平均	標準偏差	中央値
下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	18.9	3.2	19
下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	18.1	3.6	18
下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	20.7	3.1	20
下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	18.5	3.5	19
下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	18.0	3.5	18
下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	20.1	3.3	20
下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割発見と同時進行】	20.2	3.3	20
総得点	134.4	19.4	136

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

¹⁾ 舟島なをみ監修：看護実践・教育のための測定用具ファイル第 4 版 開発過程から活用の実際まで、医学書院、74-85、2024

表 26 「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の領域

	件数	%
高得点領域	2,022	33.6
中得点領域	3,338	55.4
低得点領域	315	5.2
無回答・欠損	348	5.8
計	6,023	100.0

※1 高得点領域：141 点以上、中得点領域：104 点以上 140 点以下、低得点領域：103 点以下

※2 1 項目以上回答がないため尺度得点を算出できなかった場合は、「無回答・欠損」とした

2. 看護実践の自己評価別の看護師の臨床判断や対応

高得点領域では、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、他の得点領域と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 27 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 1-Q1 【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	656 32.4	282 13.9	1,330 65.8	1,343 66.4	1,395 69.0	1,118 55.3	919 45.5	1,502 74.3	108 5.3	- -
中得点領域	3,338 100.0	1,266 37.9	523 15.7	1,906 57.1	2,043 61.2	1,899 56.9	1,305 39.1	1,078 32.3	1,938 58.1	109 3.3	7 0.2
低得点領域	315 100.0	135 42.9	56 17.8	128 40.6	176 55.9	156 49.5	94 29.8	82 26.0	127 40.3	9 2.9	- -
無回答・欠損	348 100.0	120 34.5	45 12.9	201 57.8	187 53.7	195 56.0	149 42.8	129 37.1	199 57.2	10 2.9	22 6.3
計	6,023 100.0	2,177 36.1	906 15.0	3,565 59.2	3,749 62.2	3,645 60.5	2,666 44.3	2,208 36.7	3,766 62.5	236 3.9	29 0.5

表 28 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 1-Q2 【複数回答】

	計	血圧の 状況	排便の 状況	血清マグネシウムの検査 の必要性（医師と相談）	コレステロール値	怒りっぽさや不穏症状 など	起床時の意識レベルや ふらつきの有無	睡眠の 状況	消化器症状の有無	その他	無回答
高得点領域	2,022 100	1,966 97.2	1,923 95.1	968 47.9	1,127 55.7	1,776 87.8	1,785 88.3	1,921 95.0	1,555 76.9	271 13.4	- -
中得点領域	3,338 100	3,205 96.0	3,120 93.5	1,181 35.4	1,447 43.3	2,821 84.5	2,757 82.6	3,096 92.8	2,250 67.4	229 6.9	3 0.1
低得点領域	315 100	298 94.6	285 90.5	85 27.0	112 35.6	240 76.2	240 76.2	274 87.0	181 57.5	18 5.7	- -
無回答・欠損	348 100	303 87.1	299 85.9	146 42.0	149 42.8	265 76.1	254 73.0	288 82.8	217 62.4	25 7.2	24 6.9
計	6,023 100.0	5,772 95.8	5,627 93.4	2,380 39.5	2,835 47.1	5,102 84.7	5,036 83.6	5,579 92.6	4,203 69.8	543 9.0	27 0.4

表 29 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態(観察)	その他	無回答
高得点領域	2,022 100	1,951 96.5	1,969 97.4	1,671 82.6	1,426 70.5	758 37.5	386 19.1	1,645 81.4	290 14.3	- -
中得点領域	3,338 100	3,185 95.4	3,172 95.0	2,516 75.4	2,041 61.1	892 26.7	461 13.8	2,525 75.6	277 8.3	2 0.1
低得点領域	315 100	290 92.1	290 92.1	207 65.7	147 46.7	69 21.9	30 9.5	216 68.6	22 7.0	- -
無回答・欠損	348 100	298 85.6	287 82.5	237 68.1	230 66.1	127 36.5	74 21.3	236 67.8	20 5.7	25 7.2
計	6,023 100.0	5,724 95.0	5,718 94.9	4,631 76.9	3,844 63.8	1,846 30.6	951 15.8	4,622 76.7	609 10.1	27 0.4

表 30 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性はある	喫煙歴による頭痛の 可能性はある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性はある	その他	無回答
高得点領域	2,022 100	550 27.2	1,354 67.0	1,384 68.4	724 35.8	680 33.6	317 15.7	1 0.0
中得点領域	3,338 100	853 25.6	2,177 65.2	2,188 65.5	1,052 31.5	944 28.3	370 11.1	9 0.3
低得点領域	315 100	76 24.1	194 61.6	194 61.6	89 28.3	72 22.9	29 9.2	- -
無回答・欠損	348 100	81 23.3	187 53.7	219 62.9	89 25.6	106 30.5	29 8.3	35 10.1
計	6,023 100.0	1,560 25.9	3,912 65.0	3,985 66.2	1,954 32.4	1,802 29.9	745 12.4	45 0.7

表 31 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」総得点の領域・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を投与する前に医師に相談する	疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン錠を投与する	疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン錠を投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を繰り返す、枕の高さを調整するなど、薬剤以外の頭痛緩和の方法を患者に伝える	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	648 32.0	711 35.2	857 42.4	1,651 81.7	175 8.7	- -
中得点領域	3,338 100.0	942 28.2	1,240 37.1	1,434 43.0	2,551 76.4	136 4.1	3 0.1
低得点領域	315 100.0	78 24.8	106 33.7	143 45.4	217 68.9	9 2.9	- -
無回答・欠損	348 100.0	105 30.2	124 35.6	129 37.1	223 64.1	13 3.7	35 10.1
計	6,023 100.0	1,773 29.4	2,181 36.2	2,563 42.6	4,642 77.1	333 5.5	38 0.6

表 32 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」総得点の領域・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減されたか否かを聞く	患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	スケールで確認する 痛みの程度を	次のラウンド時に痛みの程度を確認する	薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する		
高得点領域	2,022 100.0	1,790 88.5	1,623 80.3	1,932 95.5	778 38.5	1,521 75.2	135 6.7	- -
中得点領域	3,338 100.0	2,827 84.7	2,415 72.3	3,114 93.3	1,326 39.7	2,162 64.8	129 3.9	4 0.1
低得点領域	315 100.0	246 78.1	202 64.1	291 92.4	123 39.0	178 56.5	8 2.5	- -
無回答・欠損	348 100.0	250 71.8	215 61.8	279 80.2	129 37.1	209 60.1	10 2.9	32 9.2
計	6,023 100.0	5,113 84.9	4,455 74.0	5,616 93.2	2,356 39.1	4,070 67.6	282 4.7	36 0.6

表 33 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」総得点の領域・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う デンバー式発達	投与されている薬剤を 確認する	2のフィルターの穿刺部位の 状況を確認する	尿道留置カテーテルの 挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカル アセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	1,719 85.0	1,934 95.6	114 5.6	1,738 86.0	1,549 76.6	1,306 64.6	1,331 65.8	1,473 72.8	142 7.0	1 0.0
中得点領域	3,338 100.0	2,667 79.9	3,142 94.1	155 4.6	2,729 81.8	2,377 71.2	2,020 60.5	1,787 53.5	2,020 60.5	117 3.5	3 0.1
低得点領域	315 100.0	242 76.8	283 89.8	14 4.4	223 70.8	202 64.1	162 51.4	119 37.8	133 42.2	13 4.1	- -
無回答・欠損	348 100.0	257 73.9	281 80.7	30 8.6	229 65.8	219 62.9	198 56.9	177 50.9	187 53.7	11 3.2	35 10.1
計	6,023 100.0	4,885 81.1	5,640 93.6	313 5.2	4,919 81.7	4,347 72.2	3,686 61.2	3,414 56.7	3,813 63.3	283 4.7	39 0.6

表 34 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」総得点の領域・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に 報告する	次のラウンド時に再度 バイタルサインを測定 する	環境整備をする	静脈留置カテーテル 挿入の準備をする	医師に血液検査の 必要性について 確認する	医師に血液培養検査の 必要性について 確認する	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	933 46.1	979 48.4	1,538 76.1	529 26.2	872 43.1	249 12.3	232 11.5	7 0.3
中得点領域	3,338 100.0	1,427 42.8	1,574 47.2	2,423 72.6	764 22.9	1,176 35.2	350 10.5	251 7.5	13 0.4
低得点領域	315 100.0	118 37.5	138 43.8	220 69.8	51 16.2	70 22.2	24 7.6	22 7.0	2 0.6
無回答・欠損	348 100.0	127 36.5	151 43.4	215 61.8	79 22.7	126 36.2	47 13.5	17 4.9	42 12.1
計	6,023 100.0	2,605 43.3	2,842 47.2	4,396 73.0	1,423 23.6	2,244 37.3	670 11.1	522 8.7	64 1.1

表 35 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくとも感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	1,841 91.0	1,823 90.2	1,018 50.3	1,167 57.7	751 37.1	168 8.3	1 0.0
中得点領域	3,338 100.0	3,020 90.5	2,933 87.9	1,386 41.5	1,610 48.2	1,081 32.4	185 5.5	6 0.2
低得点領域	315 100.0	278 88.3	268 85.1	107 34.0	123 39.0	98 31.1	17 5.4	- -
無回答・欠損	348 100.0	274 78.7	261 75.0	142 40.8	166 47.7	123 35.3	14 4.0	40 11.5
計	6,023 100.0	5,413 89.9	5,285 87.7	2,653 44.0	3,066 50.9	2,053 34.1	384 6.4	47 0.8

表 36 「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」 総得点の領域・事例 4【複数回答】

	計	薬については不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
高得点領域	2,022 100.0	1,366 67.6	897 44.4	975 48.2	1,760 87.0	977 48.3	617 30.5	270 13.4	1 0.0
中得点領域	3,338 100.0	2,276 68.2	1,482 44.4	1,266 37.9	2,847 85.3	1,317 39.5	728 21.8	260 7.8	5 0.1
低得点領域	315 100.0	195 61.9	131 41.6	94 29.8	244 77.5	116 36.8	59 18.7	21 6.7	- -
無回答・欠損	348 100.0	194 55.7	138 39.7	122 35.1	245 70.4	133 38.2	76 21.8	27 7.8	46 13.2
計	6,023 100.0	4,031 66.9	2,648 44.0	2,457 40.8	5,096 84.6	2,543 42.2	1,480 24.6	578 9.6	52 0.9

3. 属性別の看護師の臨床判断や対応

1) 大学院修了状況別

大学院を修了している群では、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、修了していない群と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 37 大学院修了状況【複数回答】・事例 1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
なし	4,852 100.0	1,814 37.4	761 15.7	2,793 57.6	2,994 61.7	2,837 58.5	2,022 41.7	1,695 34.9	2,921 60.2	160 3.3	16 0.3
大学院修士課程	847 100.0	254 30.0	97 11.5	580 68.5	574 67.8	618 73.0	512 60.4	405 47.8	652 77.0	65 7.7	5 0.6
大学院博士課程	48 100.0	13 27.1	3 6.3	38 79.2	40 83.3	42 87.5	40 83.3	30 62.5	41 85.4	8 16.7	1 2.1
無回答	312 100.0	106 34.0	46 14.7	181 58.0	170 54.5	178 57.1	121 38.8	100 32.1	182 58.3	9 2.9	8 2.6
計	6,023 100.0	2,177 36.1	906 15.0	3,565 59.2	3,749 62.2	3,645 60.5	2,666 44.3	2,208 36.7	3,766 62.5	236 3.9	29 0.5

表 38 大学院修了状況【複数回答】・事例 1-Q2【複数回答】

	計	血圧の 状況	排便の 状況	血清マグネシウム の必要性（医師と 相談）	コレステロール 値	怒りっぽさや不 穏症状 など	起床時の意識レ ベルや ふらつきの有無	睡眠の 状況	消化器症状の有 無	その他	無回答
なし	4,852 100.0	4,645 95.7	4,519 93.1	1,817 37.4	2,212 45.6	4,078 84.0	4,023 82.9	4,471 92.1	3,327 68.6	382 7.9	14 0.3
大学院修士課程	847 100.0	824 97.3	812 95.9	432 51.0	470 55.5	753 88.9	750 88.5	811 95.7	661 78.0	134 15.8	5 0.6
大学院博士課程	48 100.0	47 97.9	43 89.6	29 60.4	29 60.4	45 93.8	44 91.7	43 89.6	41 85.4	14 29.2	1 2.1
無回答	312 100.0	291 93.3	285 91.3	124 39.7	143 45.8	259 83.0	252 80.8	285 91.3	203 65.1	24 7.7	8 2.6
計	6,023 100.0	5,772 95.8	5,627 93.4	2,380 39.5	2,835 47.1	5,102 84.7	5,036 83.6	5,579 92.6	4,203 69.8	543 9.0	27 0.4

表 39 大学院修了状況【複数回答】・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態(観察)	その他	無回答
なし	4,852 100.0	4,617 95.2	4,599 94.8	3,698 76.2	3,036 62.6	1,470 30.3	755 15.6	3,694 76.1	425 8.8	14 0.3
大学院修士課程	847 100.0	809 95.5	819 96.7	701 82.8	598 70.6	280 33.1	143 16.9	684 80.8	157 18.5	5 0.6
大学院博士課程	48 100.0	46 95.8	45 93.8	40 83.3	33 68.8	21 43.8	13 27.1	36 75.0	13 27.1	1 2.1
無回答	312 100.0	286 91.7	289 92.6	222 71.2	202 64.7	89 28.5	48 15.4	235 75.3	25 8.0	8 2.6
計	6,023 100.0	5,724 95.0	5,718 94.9	4,631 76.9	3,844 63.8	1,846 30.6	951 15.8	4,622 76.7	609 10.1	27 0.4

表 40 大学院修了状況【複数回答】・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性はかなり低い	入院前からの頭痛が術後に出現した可能性がある	麻酔による頭痛の可能性がある	喫煙歴による頭痛の可能性がある	今後の生活への不安等の影響による頭痛の可能性がある	その他	無回答
なし	4,852 100.0	1,229 25.3	3,151 64.9	3,220 66.4	1,543 31.8	1,406 29.0	564 11.6	29 0.6
大学院修士課程	847 100.0	259 30.6	566 66.8	561 66.2	300 35.4	279 32.9	157 18.5	6 0.7
大学院博士課程	48 100.0	16 33.3	33 68.8	35 72.9	26 54.2	16 33.3	7 14.6	1 2.1
無回答	312 100.0	69 22.1	186 59.6	196 62.8	105 33.7	114 36.5	24 7.7	10 3.2
計	6,023 100.0	1,560 25.9	3,912 65.0	3,985 66.2	1,954 32.4	1,802 29.9	745 12.4	45 0.7

表 41 大学院修了状況【複数回答】・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を 投与する前に 医師に相談する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を 繰り返す、枕の高さを調整する など、薬剤以外の頭痛緩和の 方法を患者に伝える	その他	無回答
なし	4,852 100.0	1,416 29.2	1,721 35.5	2,126 43.8	3,700 76.3	225 4.6	22 0.5
大学院修士課程	847 100.0	269 31.8	342 40.4	293 34.6	704 83.1	97 11.5	7 0.8
大学院博士課程	48 100.0	12 25.0	24 50.0	14 29.2	44 91.7	5 10.4	2 4.2
無回答	312 100.0	85 27.2	113 36.2	139 44.6	227 72.8	10 3.2	9 2.9
計	6,023 100.0	1,773 29.4	2,181 36.2	2,563 42.6	4,642 77.1	333 5.5	38 0.6

表 42 大学院修了状況【複数回答】・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減された か否かを聞く	患者の表情から 頭痛が軽減されている かを確認する	痛み の程度を スケールで確認する	次のラウンド時に痛み の程度を確認する	薬剤が最高血中濃度 に達する時間に痛みの 程度を確認する		
なし	4,852 100.0	4,095 84.4	3,526 72.7	4,533 93.4	1,911 39.4	3,204 66.0	189 3.9	22 0.5
大学院修士課程	847 100.0	751 88.7	691 81.6	788 93.0	327 38.6	656 77.4	80 9.4	6 0.7
大学院博士課程	48 100.0	41 85.4	41 85.4	44 91.7	17 35.4	40 83.3	7 14.6	1 2.1
無回答	312 100.0	257 82.4	228 73.1	284 91.0	112 35.9	200 64.1	13 4.2	8 2.6
計	6,023 100.0	5,113 84.9	4,455 74.0	5,616 93.2	2,356 39.1	4,070 67.6	282 4.7	36 0.6

表 43 大学院修了状況【複数回答】・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う デンバー式発達	投与されている薬剤を 確認する	このフィルターの穿刺部位の 状況を確認する	尿道留置カテーテルの 挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカル アセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
なし	4,852 100.0	3,907 80.5	4,542 93.6	247 5.1	3,933 81.1	3,476 71.6	2,970 61.2	2,711 55.9	2,971 61.2	185 3.8	24 0.5
大学院修士課程	847 100.0	730 86.2	806 95.2	41 4.8	743 87.7	647 76.4	525 62.0	528 62.3	653 77.1	84 9.9	6 0.7
大学院博士課程	48 100.0	46 95.8	45 93.8	2 4.2	43 89.6	33 68.8	31 64.6	24 50.0	40 83.3	9 18.8	1 2.1
無回答	312 100.0	236 75.6	281 90.1	23 7.4	233 74.7	215 68.9	182 58.3	166 53.2	180 57.7	12 3.8	9 2.9
計	6,023 100.0	4,885 81.1	5,640 93.6	313 5.2	4,919 81.7	4,347 72.2	3,686 61.2	3,414 56.7	3,813 63.3	283 4.7	39 0.6

表 44 大学院修了状況【複数回答】・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に 報告する	次のラウンド時に再度 バイタルサインを測定 する	環境整備をする	静脈留置カテーテル 挿入の準備をする	医師に血液検査の 必要性について 確認する	医師に血液培養検査の 必要性について 確認する	その他	無回答
なし	4,852 100.0	2,084 43.0	2,303 47.5	3,527 72.7	1,120 23.1	1,730 35.7	513 10.6	380 7.8	43 0.9
大学院修士課程	847 100.0	382 45.1	390 46.0	646 76.3	238 28.1	396 46.8	118 13.9	120 14.2	10 1.2
大学院博士課程	48 100.0	22 45.8	22 45.8	37 77.1	13 27.1	29 60.4	7 14.6	7 14.6	1 2.1
無回答	312 100.0	132 42.3	143 45.8	213 68.3	61 19.6	110 35.3	34 10.9	20 6.4	11 3.5
計	6,023 100.0	2,605 43.3	2,842 47.2	4,396 73.0	1,423 23.6	2,244 37.3	670 11.1	522 8.7	64 1.1

表 45 大学院修了状況【複数回答】・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
なし	4,852 100.0	4,350 89.7	4,251 87.6	2,080 42.9	2,405 49.6	1,630 33.6	273 5.6	31 0.6
大学院修士課程	847 100.0	772 91.1	759 89.6	437 51.6	480 56.7	307 36.2	102 12.0	8 0.9
大学院博士課程	48 100.0	42 87.5	41 85.4	30 62.5	28 58.3	15 31.3	5 10.4	1 2.1
無回答	312 100.0	279 89.4	265 84.9	128 41.0	172 55.1	111 35.6	9 2.9	8 2.6
計	6,023 100.0	5,413 89.9	5,285 87.7	2,653 44.0	3,066 50.9	2,053 34.1	384 6.4	47 0.8

表 46 大学院修了状況【複数回答】・事例 4【複数回答】

	計	薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
なし	4,852 100.0	3,253 67.0	2,109 43.5	1,873 38.6	4,084 84.2	1,964 40.5	1,106 22.8	393 8.1	34 0.7
大学院修士課程	847 100.0	558 65.9	384 45.3	454 53.6	747 88.2	451 53.2	287 33.9	160 18.9	7 0.8
大学院博士課程	48 100.0	27 56.3	18 37.5	28 58.3	39 81.3	29 60.4	14 29.2	11 22.9	1 2.1
無回答	312 100.0	212 67.9	148 47.4	127 40.7	257 82.4	122 39.1	82 26.3	23 7.4	10 3.2
計	6,023 100.0	4,031 66.9	2,648 44.0	2,457 40.8	5,096 84.6	2,543 42.2	1,480 24.6	578 9.6	52 0.9

2) 教育・研修修了／認定資格取得状況別

(1) 教育・研修修了／認定資格取得状況別

教育・研修修了／認定資格取得をしている群では、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、修了／取得していない群と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 47 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	109 29.0	43 11.4	266 70.7	252 67.0	282 75.0	241 64.1	178 47.3	300 79.8	32 8.5	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	947 36.4	383 14.7	1,595 61.3	1,711 65.7	1,686 64.8	1,269 48.8	991 38.1	1,741 66.9	124 4.8	6 0.2
特定行為研修修了者	351 100.0	118 33.6	48 13.7	219 62.4	233 66.4	231 65.8	172 49.0	142 40.5	222 63.2	16 4.6	1 0.3
NP 教育課程修了者	141 100.0	24 17.0	7 5.0	105 74.5	96 68.1	113 80.1	105 74.5	93 66.0	116 82.3	15 10.6	- -
なし	2,554 100.0	981 38.4	427 16.7	1,382 54.1	1,459 57.1	1,335 52.3	881 34.5	806 31.6	1,389 54.4	49 1.9	21 0.8
計	6,025 100.0	2,179 36.2	908 15.1	3,567 59.2	3,751 62.3	3,647 60.5	2,668 44.3	2,210 36.7	3,768 62.5	236 3.9	29 0.5

表 48 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 1-Q2【複数回答】

	計	血圧の 状況	排便の 状況	血清マグネシウムの検査 の必要性（医師と相談）	コレステロール値	怒りっぽさや不穏症状 など	起床時の意識レベルや ふらつきの有無	睡眠の 状況	消化器症状の有無	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	363 96.5	362 96.3	181 48.1	196 52.1	341 90.7	331 88.0	367 97.6	296 78.7	64 17.0	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	2,506 96.3	2,477 95.2	1,111 42.7	1,262 48.5	2,279 87.6	2,222 85.4	2,483 95.4	1,858 71.4	291 11.2	5 0.2
特定行為研修修了者	351 100.0	342 97.4	325 92.6	169 48.1	179 51.0	303 86.3	295 84.0	330 94.0	261 74.4	34 9.7	2 0.6
NP 教育課程修了者	141 100.0	140 99.3	137 97.2	110 78.0	105 74.5	122 86.5	125 88.7	135 95.7	114 80.9	37 26.2	- -
なし	2,554 100.0	2,423 94.9	2,328 91.2	811 31.8	1,095 42.9	2,059 80.6	2,065 80.9	2,266 88.7	1,676 65.6	117 4.6	19 0.7
計	6,025 100.0	5,774 95.8	5,629 93.4	2,382 39.5	2,837 47.1	5,104 84.7	5,038 83.7	5,581 92.6	4,205 69.8	543 9.0	27 0.4

表 49 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態（観察）	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	359 95.5	364 96.8	305 81.1	273 72.6	123 32.7	53 14.1	299 79.5	74 19.7	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	2,493 95.8	2,532 97.3	2,093 80.4	1,703 65.4	791 30.4	384 14.8	1,987 76.3	324 12.4	5 0.2
特定行為研修修了者	351 100.0	343 97.7	345 98.3	269 76.6	246 70.1	139 39.6	68 19.4	273 77.8	37 10.5	1 0.3
NP 教育課程修了者	141 100.0	140 99.3	139 98.6	123 87.2	114 80.9	75 53.2	43 30.5	118 83.7	44 31.2	- -
なし	2,554 100.0	2,391 93.6	2,340 91.6	1,843 72.2	1,510 59.1	720 28.2	404 15.8	1,947 76.2	131 5.1	20 0.8
計	6,023 100.0	5,726 95.0	5,720 94.9	4,633 76.9	3,846 63.8	1,848 30.7	952 15.8	4,624 76.7	609 10.1	27 0.4

表 50 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性がある	喫煙歴による頭痛の 可能性がある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性はある	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	105 27.9	250 66.5	250 66.5	150 39.9	111 29.5	69 18.4	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	707 27.2	1,740 66.8	1,722 66.2	870 33.4	838 32.2	394 15.1	8 0.3
特定行為研修修了者	351 100.0	112 31.9	233 66.4	216 61.5	128 36.5	100 28.5	43 12.3	3 0.9
NP 教育課程修了者	141 100.0	63 44.7	102 72.3	93 66.0	53 37.6	49 34.8	47 33.3	- -
なし	2,554 100.0	575 22.5	1,589 62.2	1,706 66.8	755 29.6	706 27.6	192 7.5	33 1.3
計	6,025 100.0	1,562 25.9	3,914 65.0	3,987 66.2	1,956 32.5	1,804 29.9	745 12.4	45 0.7

表 51 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を 投与する前に 医師に相談する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を 繰り返す、枕の高さを調整する など、薬剤以外の頭痛緩和の 方法を患者に伝える	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	140 37.2	143 38.0	134 35.6	327 87.0	41 10.9	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	817 31.4	864 33.2	1,119 43.0	2,106 80.9	166 6.4	9 0.3
特定行為研修修了者	351 100.0	117 33.3	121 34.5	142 40.5	283 80.6	21 6.0	2 0.6
NP 教育課程修了者	141 100.0	38 27.0	65 46.1	39 27.7	110 78.0	37 26.2	1 0.7
なし	2,554 100.0	661 25.9	990 38.8	1,131 44.3	1,818 71.2	68 2.7	25 1.0
計	6,025 100.0	1,773 29.4	2,183 36.2	2,565 42.6	4,644 77.1	333 5.5	38 0.6

表 52 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減された か否かを聞く	患者の表情から 頭痛が軽減されてい るかを確認する	痛みの程度を スケールで確認する	次のラウンド時に痛み の程度を確認する	薬剤が最高血中濃度 に達する時間に痛みの 程度を確認する		
専門看護師	376 100.0	336 89.4	310 82.4	351 93.4	130 34.6	313 83.2	39 10.4	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	2,229 85.6	2,006 77.1	2,461 94.5	931 35.8	1,922 73.8	146 5.6	9 0.3
特定行為研修修了者	351 100.0	302 86.0	275 78.3	333 94.9	126 35.9	250 71.2	19 5.4	3 0.9
NP 教育課程修了者	141 100.0	127 90.1	126 89.4	134 95.0	57 40.4	107 75.9	18 12.8	- -
なし	2,554 100.0	2,121 83.0	1,740 68.1	2,339 91.6	1,113 43.6	1,480 57.9	60 2.3	23 0.9
計	6,025 100.0	5,115 84.9	4,457 74.0	5,618 93.2	2,357 39.1	4,072 67.6	282 4.7	36 0.6

表 53 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う デンバー式発達	投与されている薬剤を 確認する	モニタリングの穿刺部位の 状況を確認する	尿道留置カテーテルの 挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカル アセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	332 88.3	363 96.5	15 4.0	341 90.7	283 75.3	236 62.8	244 64.9	301 80.1	35 9.3	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	2,132 81.9	2,480 95.3	98 3.8	2,216 85.1	1,950 74.9	1,584 60.9	1,564 60.1	1,822 70.0	152 5.8	9 0.3
特定行為研修修了者	351 100.0	312 88.9	331 94.3	21 6.0	299 85.2	257 73.2	220 62.7	229 65.2	225 64.1	20 5.7	2 0.6
NP 教育課程修了者	141 100.0	129 91.5	134 95.0	4 2.8	134 95.0	110 78.0	83 58.9	96 68.1	124 87.9	29 20.6	- -
なし	2,554 100.0	1,982 77.6	2,334 91.4	177 6.9	1,931 75.6	1,749 68.5	1,565 61.3	1,283 50.2	1,343 52.6	47 1.8	27 1.1
計	6,025 100.0	4,887 81.1	5,642 93.6	315 5.2	4,921 81.7	4,349 72.2	3,688 61.2	3,416 56.7	3,815 63.3	283 4.7	39 0.6

表 54 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に 報告する	次のラウンド時に再度 バイタルサインを測定 する	環境整備をする	静脈留置カテーテル 挿入の準備をする	医師に血液検査の 必要性について 確認する	医師に血液培養検査の 必要性について 確認する	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	186 49.5	175 46.5	297 79.0	102 27.1	176 46.8	39 10.4	52 13.8	3 0.8
認定看護師	2,603 100.0	1,279 49.1	1,217 46.8	1,961 75.3	682 26.2	1,079 41.5	326 12.5	267 10.3	14 0.5
特定行為研修修了者	351 100.0	145 41.3	143 40.7	254 72.4	109 31.1	142 40.5	46 13.1	41 11.7	3 0.9
NP 教育課程修了者	141 100.0	59 41.8	61 43.3	99 70.2	55 39.0	80 56.7	36 25.5	35 24.8	1 0.7
なし	2,554 100.0	938 36.7	1,248 48.9	1,786 69.9	477 18.7	769 30.1	224 8.8	127 5.0	43 1.7
計	6,025 100.0	2,607 43.3	2,844 47.2	4,397 73.0	1,425 23.7	2,246 37.3	671 11.1	522 8.7	64 1.1

表 55 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	347 92.3	340 90.4	215 57.2	210 55.9	140 37.2	43 11.4	3 0.8
認定看護師	2,603 100.0	2,336 89.7	2,284 87.7	1,285 49.4	1,457 56.0	909 34.9	199 7.6	10 0.4
特定行為研修修了者	351 100.0	313 89.2	311 88.6	175 49.9	206 58.7	117 33.3	28 8.0	4 1.1
NP 教育課程修了者	141 100.0	127 90.1	125 88.7	85 60.3	90 63.8	67 47.5	33 23.4	- -
なし	2,554 100.0	2,292 89.7	2,227 87.2	895 35.0	1,104 43.2	822 32.2	81 3.2	30 1.2
計	6,025 100.0	5,415 89.9	5,287 87.8	2,655 44.1	3,067 50.9	2,055 34.1	384 6.4	47 0.8

表 56 教育・研修修了／認定資格取得状況・事例 4【複数回答】

	計	薬については不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
専門看護師	376 100.0	243 64.6	165 43.9	204 54.3	334 88.8	194 51.6	120 31.9	87 23.1	- -
認定看護師	2,603 100.0	1,764 67.8	1,162 44.6	1,197 46.0	2,277 87.5	1,160 44.6	709 27.2	312 12.0	16 0.6
特定行為研修修了者	351 100.0	210 59.8	139 39.6	156 44.4	310 88.3	166 47.3	88 25.1	26 7.4	2 0.6
NP 教育課程修了者	141 100.0	76 53.9	55 39.0	89 63.1	126 89.4	84 59.6	52 36.9	32 22.7	1 0.7
なし	2,554 100.0	1,740 68.1	1,129 44.2	812 31.8	2,051 80.3	941 36.8	512 20.0	121 4.7	33 1.3
計	6,025 100.0	4,033 66.9	2,650 44.0	2,458 40.8	5,098 84.6	2,545 42.2	1,481 24.6	578 9.6	52 0.9

(2) 認定看護師における特定行為研修修了状況別

認定看護師では、特定行為研修を修了している群で、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、修了していない群と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 57 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
認定看護師・ 特定行為研修修了あり	908 100.0	337 37.1	125 13.8	568 62.6	618 68.1	616 67.8	487 53.6	390 43.0	616 67.8	44 4.8	4 0.4
認定看護師・ 特定行為研修修了なし	1,695 100.0	610 36.0	258 15.2	1,027 60.6	1,093 64.5	1,070 63.1	782 46.1	601 35.5	1,125 66.4	80 4.7	2 0.1
計	2,603 100.0	947 36.4	383 14.7	1,595 61.3	1,711 65.7	1,686 64.8	1,269 48.8	991 38.1	1,741 66.9	124 4.8	6 0.2

表 58 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 1-Q2【複数回答】

	計	血圧の 状況	排便の 状況	の血清マグネシウム の必要性（医師と相談 の検査）	コレステロール値	怒りっぽさや不穏 症状 など	起床時の意識レベルや ふらつきの有無	睡眠の 状況	消化器症状の有無	その他	無回答
認定看護師・ 特定行為研修修了あり	908 100.0	880 96.9	860 94.7	431 47.5	458 50.4	774 85.2	768 84.6	856 94.3	641 70.6	96 10.6	3 0.3
認定看護師・ 特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,626 95.9	1,617 95.4	680 40.1	804 47.4	1,505 88.8	1,454 85.8	1,627 96.0	1,217 71.8	195 11.5	2 0.1
計	2,603 100.0	2,506 96.3	2,477 95.2	1,111 42.7	1,262 48.5	2,279 87.6	2,222 85.4	2,483 95.4	1,858 71.4	291 11.2	5 0.2

表 59 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態(観察)	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	894 98.5	893 98.3	725 79.8	625 68.8	340 37.4	162 17.8	681 75.0	134 14.8	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,599 94.3	1,639 96.7	1,368 80.7	1,078 63.6	451 26.6	222 13.1	1,306 77.1	190 11.2	2 0.1
計	2,603 100.0	2,493 95.8	2,532 97.3	2,093 80.4	1,703 65.4	791 30.4	384 14.8	1,987 76.3	324 12.4	5 0.2

表 60 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性がある	喫煙歴による頭痛の 可能性がある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性がある	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	276 30.4	607 66.9	566 62.3	316 34.8	300 33.0	152 16.7	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	431 25.4	1,133 66.8	1,156 68.2	554 32.7	538 31.7	242 14.3	5 0.3
計	2,603 100.0	707 27.2	1,740 66.8	1,722 66.2	870 33.4	838 32.2	394 15.1	8 0.3

表 61 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を投与する前に医師に相談する	疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン錠を投与する	疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン錠を投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を繰り返す、枕の高さを調整するなど、薬剤以外の頭痛緩和の方法を患者に伝える	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	310 34.1	304 33.5	365 40.2	738 81.3	74 8.1	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	507 29.9	560 33.0	754 44.5	1,368 80.7	92 5.4	6 0.4
計	2,603 100.0	817 31.4	864 33.2	1,119 43.0	2,106 80.9	166 6.4	9 0.3

表 62 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減されたか否かを聞く	患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	スケールで確認する 痛みの程度を	次のラウンド時に痛みの程度を確認する	薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する		
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	790 87.0	702 77.3	875 96.4	321 35.4	682 75.1	48 5.3	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,439 84.9	1,304 76.9	1,586 93.6	610 36.0	1,240 73.2	98 5.8	6 0.4
計	2,603 100.0	2,229 85.6	2,006 77.1	2,461 94.5	931 35.8	1,922 73.8	146 5.6	9 0.3

表 63 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う デンバー式発達	投与されている薬剤を確認する	ゾフィルターの穿刺部位の状況を確認する	尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	796 87.7	865 95.3	33 3.6	789 86.9	697 76.8	541 59.6	573 63.1	684 75.3	61 6.7	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,336 78.8	1,615 95.3	65 3.8	1,427 84.2	1,253 73.9	1,043 61.5	991 58.5	1,138 67.1	91 5.4	6 0.4
計	2,603 100.0	2,132 81.9	2,480 95.3	98 3.8	2,216 85.1	1,950 74.9	1,584 60.9	1,564 60.1	1,822 70.0	152 5.8	9 0.3

表 64 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に報告する	次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する	環境整備をする	静脈留置カテーテル挿入の準備をする	医師に血液検査の必要性について確認する	医師に血液培養検査の必要性について確認する	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	454 50.0	398 43.8	663 73.0	272 30.0	431 47.5	139 15.3	98 10.8	5 0.6
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	825 48.7	819 48.3	1,298 76.6	410 24.2	648 38.2	187 11.0	169 10.0	9 0.5
計	2,603 100.0	1,279 49.1	1,217 46.8	1,961 75.3	682 26.2	1,079 41.5	326 12.5	267 10.3	14 0.5

表 65 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢者であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	813 89.5	802 88.3	488 53.7	555 61.1	331 36.5	85 9.4	3 0.3
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,523 89.9	1,482 87.4	797 47.0	902 53.2	578 34.1	114 6.7	7 0.4
計	2,603 100.0	2,336 89.7	2,284 87.7	1,285 49.4	1,457 56.0	909 34.9	199 7.6	10 0.4

表 66 認定看護師における特定行為研修修了状況・事例 4【複数回答】

	計	薬については不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	582 64.1	402 44.3	434 47.8	781 86.0	419 46.1	229 25.2	112 12.3	5 0.6
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,182 69.7	760 44.8	763 45.0	1,496 88.3	741 43.7	480 28.3	200 11.8	11 0.6
計	2,603 100.0	1,764 67.8	1,162 44.6	1,197 46.0	2,277 87.5	1,160 44.6	709 27.2	312 12.0	16 0.6

3) 学習活動の機会

(1) 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか

実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会がある群では、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、機会がない群と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 67 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	298 33.4	116 13.0	580 65.0	599 67.2	609 68.3	484 54.3	411 46.1	679 76.1	46 5.2	4 0.4
やや当てはまる	2,011 100.0	710 35.3	281 14.0	1,241 61.7	1,260 62.7	1,325 65.9	1,002 49.8	816 40.6	1,366 67.9	88 4.4	5 0.2
どちらかという 当てはまる	1,914 100.0	698 36.5	302 15.8	1,097 57.3	1,193 62.3	1,106 57.8	754 39.4	641 33.5	1,121 58.6	63 3.3	5 0.3
どちらかという 当てはまらない	710 100.0	279 39.3	123 17.3	383 53.9	412 58.0	357 50.3	246 34.6	206 29.0	350 49.3	22 3.1	2 0.3
ほとんど 当てはまらない	389 100.0	146 37.5	69 17.7	216 55.5	230 59.1	202 51.9	144 37.0	107 27.5	204 52.4	13 3.3	- -
全く 当てはまらない	95 100.0	45 47.4	15 15.8	48 50.5	54 56.8	45 47.4	36 37.9	27 28.4	45 47.4	4 4.2	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	- -	- -	1 8.3	1 8.3	- -	- -	1 8.3	- -	11 91.7
計	6,023 100.0	2,177 36.1	906 15.0	3,565 59.2	3,749 62.2	3,645 60.5	2,666 44.3	2,208 36.7	3,766 62.5	236 3.9	29 0.5

表 68 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例1-Q2【複数回答】

	計	血圧の状況	排便の状況	血清マグネシウムの検査の必要性（医師と相談）	コレステロール値	怒りっぽさや不穏症状など	起床時の意識レベルやふらつきの有無	睡眠の状況	消化器症状の有無	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	858 96.2	850 95.3	418 46.9	481 53.9	775 86.9	783 87.8	830 93.0	668 74.9	124 13.9	3 0.3
やや当てはまる	2,011 100.0	1,933 96.1	1,878 93.4	844 42.0	988 49.1	1,699 84.5	1,712 85.1	1,871 93.0	1,469 73.0	186 9.2	6 0.3
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,842 96.2	1,785 93.3	705 36.8	888 46.4	1,619 84.6	1,572 82.1	1,779 92.9	1,316 68.8	147 7.7	4 0.2
どちらかという当てはまらない	710 100.0	675 95.1	657 92.5	248 34.9	276 38.9	598 84.2	585 82.4	653 92.0	446 62.8	47 6.6	1 0.1
ほとんど当てはまらない	389 100.0	376 96.7	369 94.9	132 33.9	158 40.6	339 87.1	308 79.2	360 92.5	246 63.2	30 7.7	- -
全く当てはまらない	95 100.0	87 91.6	87 91.6	33 34.7	43 45.3	71 74.7	75 78.9	85 89.5	57 60.0	9 9.5	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	- -	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	- -	11 91.7
計	6,023 100.0	5,772 95.8	5,627 93.4	2,380 39.5	2,835 47.1	5,102 84.7	5,036 83.6	5,579 92.6	4,203 69.8	543 9.0	27 0.4

表 69 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時の状況及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態（観察）	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	853 95.6	865 97.0	723 81.1	608 68.2	331 37.1	182 20.4	690 77.4	132 14.8	3 0.3
やや当てはまる	2,011 100.0	1,928 95.9	1,921 95.5	1,577 78.4	1,375 68.4	655 32.6	341 17.0	1,561 77.6	210 10.4	5 0.2
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,812 94.7	1,804 94.3	1,456 76.1	1,184 61.9	542 28.3	282 14.7	1,490 77.8	167 8.7	5 0.3
どちらかという当てはまらない	710 100.0	675 95.1	676 95.2	525 73.9	405 57.0	187 26.3	89 12.5	541 76.2	56 7.9	1 0.1
ほとんど当てはまらない	389 100.0	369 94.9	370 95.1	289 74.3	222 57.1	98 25.2	46 11.8	283 72.8	35 9.0	- -
全く当てはまらない	95 100.0	86 90.5	81 85.3	60 63.2	50 52.6	32 33.7	10 10.5	56 58.9	9 9.5	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	- -	1 8.3	1 8.3	1 8.3	- -	11 91.7
計	6,023 100.0	5,724 95.0	5,718 94.9	4,631 76.9	3,844 63.8	1,846 30.6	951 15.8	4,622 76.7	609 10.1	27 0.4

表 70 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性がある	喫煙歴による頭痛の 可能性がある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性がある	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	233 26.1	572 64.1	609 68.3	302 33.9	298 33.4	144 16.1	6 0.7
やや当てはまる	2,011 100.0	531 26.4	1,317 65.5	1,376 68.4	667 33.2	646 32.1	258 12.8	10 0.5
どちらかという 当てはまる	1,914 100.0	494 25.8	1,236 64.6	1,241 64.8	626 32.7	539 28.2	213 11.1	12 0.6
どちらかという 当てはまらない	710 100.0	173 24.4	466 65.6	450 63.4	210 29.6	178 25.1	70 9.9	2 0.3
ほとんど 当てはまらない	389 100.0	103 26.5	265 68.1	254 65.3	122 31.4	114 29.3	46 11.8	2 0.5
全く 当てはまらない	95 100.0	26 27.4	56 58.9	55 57.9	27 28.4	26 27.4	14 14.7	2 2.1
無回答	12 100.0	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -	11 91.7
計	6,023 100.0	1,560 25.9	3,912 65.0	3,985 66.2	1,954 32.4	1,802 29.9	745 12.4	45 0.7

表 71 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を 投与する前に 医師に相談する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を 繰り返す、枕の高さを調整する など、薬剤以外の頭痛緩和の 方法を患者に伝える	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	279 31.3	302 33.9	370 41.5	720 80.7	83 9.3	4 0.4
やや当てはまる	2,011 100.0	613 30.5	712 35.4	862 42.9	1,559 77.5	111 5.5	10 0.5
どちらかという 当てはまる	1,914 100.0	557 29.1	705 36.8	821 42.9	1,471 76.9	89 4.6	8 0.4
どちらかという 当てはまらない	710 100.0	197 27.7	269 37.9	306 43.1	526 74.1	28 3.9	2 0.3
ほとんど 当てはまらない	389 100.0	106 27.2	159 40.9	164 42.2	300 77.1	17 4.4	1 0.3
全く 当てはまらない	95 100.0	20 21.1	34 35.8	40 42.1	65 68.4	5 5.3	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	- -	- -	1 8.3	- -	11 91.7
計	6,023 100.0	1,773 29.4	2,181 36.2	2,563 42.6	4,642 77.1	333 5.5	38 0.6

表 72 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減されたか否かを聞く	患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	痛みの程度をスケールで確認する	次のラウンド時に痛みの程度を確認する	薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する		
非常に当てはまる	892 100.0	773 86.7	701 78.6	842 94.4	353 39.6	655 73.4	67 7.5	5 0.6
やや当てはまる	2,011 100.0	1,746 86.8	1,490 74.1	1,903 94.6	762 37.9	1,407 70.0	86 4.3	9 0.4
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,596 83.4	1,410 73.7	1,763 92.1	786 41.1	1,254 65.5	84 4.4	7 0.4
どちらかという当てはまらない	710 100.0	584 82.3	515 72.5	660 93.0	274 38.6	444 62.5	21 3.0	2 0.3
ほとんど当てはまらない	389 100.0	341 87.7	274 70.4	363 93.3	152 39.1	250 64.3	19 4.9	1 0.3
全く当てはまらない	95 100.0	72 75.8	64 67.4	84 88.4	28 29.5	60 63.2	4 4.2	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	- -	1 8.3	10 83.3
計	6,023 100.0	5,113 84.9	4,455 74.0	5,616 93.2	2,356 39.1	4,070 67.6	282 4.7	36 0.6

表 73 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う	デンバー式発達	投与されている薬剤を確認する	2のフィルターの穿刺部位の状況を確認する	尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	758 85.0	832 93.3	50 5.6	765 85.8	657 73.7	552 61.9	578 64.8	628 70.4	71 8.0	4 0.4	
やや当てはまる	2,011 100.0	1,655 82.3	1,884 93.7	127 6.3	1,677 83.4	1,477 73.4	1,232 61.3	1,188 59.1	1,347 67.0	103 5.1	10 0.5	
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,557 81.3	1,792 93.6	82 4.3	1,547 80.8	1,391 72.7	1,178 61.5	1,051 54.9	1,186 62.0	66 3.4	9 0.5	
どちらかという当てはまらない	710 100.0	544 76.6	675 95.1	36 5.1	561 79.0	493 69.4	432 60.8	355 50.0	384 54.1	20 2.8	2 0.3	
ほとんど当てはまらない	389 100.0	299 76.9	372 95.6	16 4.1	300 77.1	269 69.2	235 60.4	194 49.9	217 55.8	17 4.4	1 0.3	
全く当てはまらない	95 100.0	71 74.7	84 88.4	2 2.1	68 71.6	60 63.2	57 60.0	47 49.5	50 52.6	6 6.3	2 2.1	
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	- -	1 8.3	- -	- -	1 8.3	1 8.3	- -	11 91.7	
計	6,023 100.0	4,885 81.1	5,640 93.6	313 5.2	4,919 81.7	4,347 72.2	3,686 61.2	3,414 56.7	3,813 63.3	283 4.7	39 0.6	

表 74 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に報告する	次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する	環境整備をする	静脈留置カテーテル挿入の準備をする	医師に血液検査の必要性について確認する	医師に血液培養検査の必要性について確認する	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	430 48.2	426 47.8	638 71.5	247 27.7	387 43.4	111 12.4	110 12.3	12 1.3
やや当てはまる	2,011 100.0	899 44.7	949 47.2	1,485 73.8	501 24.9	827 41.1	240 11.9	166 8.3	19 0.9
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	773 40.4	929 48.5	1,414 73.9	417 21.8	650 34.0	200 10.4	156 8.2	14 0.7
どちらかという当てはまらない	710 100.0	289 40.7	328 46.2	521 73.4	146 20.6	217 30.6	76 10.7	44 6.2	5 0.7
ほとんど当てはまらない	389 100.0	171 44.0	170 43.7	275 70.7	91 23.4	133 34.2	35 9.0	38 9.8	2 0.5
全く当てはまらない	95 100.0	42 44.2	40 42.1	63 66.3	21 22.1	30 31.6	8 8.4	7 7.4	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	- -	- -	- -	- -	- -	1 8.3	10 83.3
計	6,023 100.0	2,605 43.3	2,842 47.2	4,396 73.0	1,423 23.6	2,244 37.3	670 11.1	522 8.7	64 1.1

表 75 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢者であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	791 88.7	793 88.9	431 48.3	489 54.8	339 38.0	73 8.2	8 0.9
やや当てはまる	2,011 100.0	1,817 90.4	1,770 88.0	931 46.3	1,098 54.6	717 35.7	143 7.1	12 0.6
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,739 90.9	1,679 87.7	823 43.0	946 49.4	621 32.4	101 5.3	12 0.6
どちらかという当てはまらない	710 100.0	632 89.0	626 88.2	272 38.3	319 44.9	218 30.7	29 4.1	2 0.3
ほとんど当てはまらない	389 100.0	350 90.0	337 86.6	165 42.4	170 43.7	127 32.6	28 7.2	1 0.3
全く当てはまらない	95 100.0	83 87.4	79 83.2	31 32.6	44 46.3	31 32.6	9 9.5	2 2.1
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	- -	- -	- -	1 8.3	10 83.3
計	6,023 100.0	5,413 89.9	5,285 87.7	2,653 44.0	3,066 50.9	2,053 34.1	384 6.4	47 0.8

表 76 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会・事例 4【複数回答】

	計	薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
非常に当てはまる	892 100.0	577 64.7	398 44.6	411 46.1	763 85.5	410 46.0	244 27.4	123 13.8	10 1.1
やや当てはまる	2,011 100.0	1,375 68.4	884 44.0	870 43.3	1,732 86.1	916 45.5	533 26.5	206 10.2	13 0.6
どちらかという当てはまる	1,914 100.0	1,291 67.5	855 44.7	734 38.3	1,583 82.7	762 39.8	451 23.6	155 8.1	11 0.6
どちらかという当てはまらない	710 100.0	471 66.3	307 43.2	246 34.6	614 86.5	264 37.2	141 19.9	45 6.3	5 0.7
ほとんど当てはまらない	389 100.0	256 65.8	167 42.9	162 41.6	330 84.8	157 40.4	89 22.9	38 9.8	2 0.5
全く当てはまらない	95 100.0	61 64.2	37 38.9	34 35.8	73 76.8	34 35.8	22 23.2	9 9.5	2 2.1
無回答	12 100.0	- -	- -	- -	1 8.3	- -	- -	2 16.7	9 75.0
計	6,023 100.0	4,031 66.9	2,648 44.0	2,457 40.8	5,096 84.6	2,543 42.2	1,480 24.6	578 9.6	52 0.9

(2) 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか

主体的に自己研鑽の目標と計画を設定している群では、情報収集やアセスメント、対応、医師への確認や医師・他職種との情報共有に関する各選択肢において、設定していない群と比べて回答割合が高いものがみられた。

表 77 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	359 32.8	143 13.1	704 64.3	727 66.4	770 70.3	613 56.0	501 45.8	832 76.0	61 5.6	4 0.4
やや当てはまる	2,263 100.0	770 34.0	304 13.4	1,402 62.0	1,440 63.6	1,470 65.0	1,097 48.5	894 39.5	1,540 68.1	98 4.3	7 0.3
どちらかという 当てはまる	1,724 100.0	649 37.6	284 16.5	975 56.6	1,048 60.8	984 57.1	666 38.6	566 32.8	979 56.8	49 2.8	2 0.1
どちらかという 当てはまらない	646 100.0	282 43.7	121 18.7	356 55.1	376 58.2	293 45.4	205 31.7	176 27.2	298 46.1	15 2.3	4 0.6
ほとんど 当てはまらない	211 100.0	84 39.8	36 17.1	97 46.0	121 57.3	94 44.5	60 28.4	52 24.6	87 41.2	9 4.3	1 0.5
全く 当てはまらない	62 100.0	31 50.0	17 27.4	26 41.9	31 50.0	28 45.2	19 30.6	12 19.4	24 38.7	2 3.2	-
無回答	22 100.0	2 9.1	1 4.5	5 22.7	6 27.3	6 27.3	6 27.3	7 31.8	6 27.3	2 9.1	11 50.0
計	6,023 100.0	2,177 36.1	906 15.0	3,565 59.2	3,749 62.2	3,645 60.5	2,666 44.3	2,208 36.7	3,766 62.5	236 3.9	29 0.5

表 78 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 1-Q2【複数回答】

	計	血圧の状況	排便の状況	血清マグネシウムの検査の必要性（医師と相談）	コレステロール値	怒りっぽさや不穏症状など	起床時の意識レベルやふらつきの有無	睡眠の状況	消化器症状の有無	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	1,058 96.6	1,040 95.0	560 51.1	616 56.3	954 87.1	957 87.4	1,023 93.4	830 75.8	162 14.8	3 0.3
やや当てはまる	2,263 100.0	2,169 95.8	2,131 94.2	948 41.9	1,124 49.7	1,941 85.8	1,918 84.8	2,116 93.5	1,657 73.2	210 9.3	8 0.4
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,661 96.3	1,597 92.6	596 34.6	747 43.3	1,449 84.0	1,425 82.7	1,590 92.2	1,153 66.9	119 6.9	-
どちらかという当てはまらない	646 100.0	619 95.8	599 92.7	198 30.7	261 40.4	529 81.9	524 81.1	602 93.2	403 62.4	31 4.8	4 0.6
ほとんど当てはまらない	211 100.0	199 94.3	197 93.4	57 27.0	63 29.9	173 82.0	161 76.3	187 88.6	119 56.4	13 6.2	1 0.5
全く当てはまらない	62 100.0	56 90.3	53 85.5	12 19.4	17 27.4	47 75.8	43 69.4	51 82.3	31 50.0	5 8.1	-
無回答	22 100.0	10 45.5	10 45.5	9 40.9	7 31.8	9 40.9	8 36.4	10 45.5	10 45.5	3 13.6	11 50.0
計	6,023 100.0	5,772 95.8	5,627 93.4	2,380 39.5	2,835 47.1	5,102 84.7	5,036 83.6	5,579 92.6	4,203 69.8	543 9.0	27 0.4

表 79 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時の状況及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態（観察）	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	1,055 96.3	1,061 96.9	907 82.8	762 69.6	413 37.7	217 19.8	848 77.4	165 15.1	3 0.3
やや当てはまる	2,263 100.0	2,161 95.5	2,168 95.8	1,769 78.2	1,510 66.7	713 31.5	372 16.4	1,772 78.3	257 11.4	7 0.3
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,639 95.1	1,647 95.5	1,308 75.9	1,074 62.3	482 28.0	239 13.9	1,319 76.5	134 7.8	1 0.1
どちらかという当てはまらない	646 100.0	611 94.6	593 91.8	467 72.3	371 57.4	165 25.5	89 13.8	498 77.1	36 5.6	4 0.6
ほとんど当てはまらない	211 100.0	192 91.0	188 89.1	135 64.0	95 45.0	51 24.2	23 10.9	146 69.2	12 5.7	1 0.5
全く当てはまらない	62 100.0	55 88.7	51 82.3	35 56.5	23 37.1	17 27.4	5 8.1	29 46.8	4 6.5	-
無回答	22 100.0	11 50.0	10 45.5	10 45.5	9 40.9	5 22.7	6 27.3	10 45.5	1 4.5	11 50.0
計	6,023 100.0	5,724 95.0	5,718 94.9	4,631 76.9	3,844 63.8	1,846 30.6	951 15.8	4,622 76.7	609 10.1	27 0.4

表 80 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性がある	喫煙歴による頭痛の 可能性がある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性がある	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	326 29.8	711 64.9	731 66.8	377 34.4	357 32.6	187 17.1	6 0.5
やや当てはまる	2,263 100.0	596 26.3	1,489 65.8	1,511 66.8	764 33.8	722 31.9	301 13.3	11 0.5
どちらかという 当てはまる	1,724 100.0	411 23.8	1,112 64.5	1,149 66.6	540 31.3	494 28.7	171 9.9	7 0.4
どちらかという 当てはまらない	646 100.0	149 23.1	414 64.1	424 65.6	191 29.6	156 24.1	54 8.4	7 1.1
ほとんど 当てはまらない	211 100.0	59 28.0	140 66.4	131 62.1	59 28.0	55 26.1	20 9.5	2 0.9
全く 当てはまらない	62 100.0	18 29.0	40 64.5	30 48.4	16 25.8	12 19.4	10 16.1	1 1.6
無回答	22 100.0	1 4.5	6 27.3	9 40.9	7 31.8	6 27.3	2 9.1	11 50.0
計	6,023 100.0	1,560 25.9	3,912 65.0	3,985 66.2	1,954 32.4	1,802 29.9	745 12.4	45 0.7

表 81 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を 投与する前に 医師に相談する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を 繰り返す、枕の高さを調整する など、薬剤以外の頭痛緩和の 方法を患者に伝える	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	338 30.9	376 34.3	457 41.7	900 82.2	102 9.3	5 0.5
やや当てはまる	2,263 100.0	681 30.1	806 35.6	974 43.0	1,767 78.1	143 6.3	10 0.4
どちらかという 当てはまる	1,724 100.0	493 28.6	642 37.2	734 42.6	1,312 76.1	66 3.8	5 0.3
どちらかという 当てはまらない	646 100.0	188 29.1	243 37.6	278 43.0	468 72.4	12 1.9	5 0.8
ほとんど 当てはまらない	211 100.0	54 25.6	86 40.8	92 43.6	149 70.6	3 1.4	2 0.9
全く 当てはまらない	62 100.0	13 21.0	24 38.7	24 38.7	37 59.7	6 9.7	- -
無回答	22 100.0	6 27.3	4 18.2	4 18.2	9 40.9	1 4.5	11 50.0
計	6,023 100.0	1,773 29.4	2,181 36.2	2,563 42.6	4,642 77.1	333 5.5	38 0.6

表 82 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減されたか否かを聞く	患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	痛みの程度をスケールで確認する	次のラウンド時に痛みの程度を確認する	薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する		
非常に当てはまる	1,095 100.0	948 86.6	866 79.1	1,037 94.7	421 38.4	829 75.7	81 7.4	4 0.4
やや当てはまる	2,263 100.0	1,935 85.5	1,686 74.5	2,133 94.3	862 38.1	1,613 71.3	108 4.8	10 0.4
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,449 84.0	1,256 72.9	1,609 93.3	689 40.0	1,109 64.3	70 4.1	4 0.2
どちらかという当てはまらない	646 100.0	544 84.2	455 70.4	593 91.8	253 39.2	381 59.0	13 2.0	6 0.9
ほとんど当てはまらない	211 100.0	176 83.4	137 64.9	185 87.7	105 49.8	101 47.9	4 1.9	2 0.9
全く当てはまらない	62 100.0	52 83.9	45 72.6	49 79.0	22 35.5	28 45.2	4 6.5	- -
無回答	22 100.0	9 40.9	10 45.5	10 45.5	4 18.2	9 40.9	2 9.1	10 45.5
計	6,023 100.0	5,113 84.9	4,455 74.0	5,616 93.2	2,356 39.1	4,070 67.6	282 4.7	36 0.6

表 83 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う	デンバー式発達検査を行う	投与されている薬剤を確認する	2つのフィルターの穿刺部位の状況を確認する	尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	920 84.0	1,036 94.6	68 6.2	931 85.0	826 75.4	689 62.9	719 65.7	790 72.1	96 8.8	3 0.3	
やや当てはまる	2,263 100.0	1,880 83.1	2,119 93.6	129 5.7	1,901 84.0	1,674 74.0	1,390 61.4	1,337 59.1	1,524 67.3	116 5.1	11 0.5	
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,382 80.2	1,622 94.1	76 4.4	1,408 81.7	1,232 71.5	1,054 61.1	910 52.8	1,025 59.5	55 3.2	7 0.4	
どちらかという当てはまらない	646 100.0	492 76.2	606 93.8	26 4.0	490 75.9	437 67.6	391 60.5	333 51.5	345 53.4	7 1.1	5 0.8	
ほとんど当てはまらない	211 100.0	153 72.5	194 91.9	11 5.2	143 67.8	136 64.5	127 60.2	89 42.2	95 45.0	5 2.4	2 0.9	
全く当てはまらない	62 100.0	49 79.0	52 83.9	- -	37 59.7	33 53.2	27 43.5	20 32.3	26 41.9	3 4.8	- -	
無回答	22 100.0	9 40.9	11 50.0	3 13.6	9 40.9	9 40.9	8 36.4	6 27.3	8 36.4	1 4.5	11 50.0	
計	6,023 100.0	4,885 81.1	5,640 93.6	313 5.2	4,919 81.7	4,347 72.2	3,686 61.2	3,414 56.7	3,813 63.3	283 4.7	39 0.6	

表 84 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に報告する	次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する	環境整備をする	静脈留置カテーテル挿入の準備をする	医師に血液検査の必要性について確認する	医師に血液培養検査の必要性について確認する	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	510 46.6	512 46.8	821 75.0	321 29.3	499 45.6	147 13.4	143 13.1	10 0.9
やや当てはまる	2,263 100.0	1,036 45.8	1,026 45.3	1,656 73.2	557 24.6	898 39.7	271 12.0	206 9.1	18 0.8
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	701 40.7	856 49.7	1,259 73.0	385 22.3	594 34.5	182 10.6	116 6.7	13 0.8
どちらかという当てはまらない	646 100.0	261 40.4	320 49.5	467 72.3	109 16.9	185 28.6	51 7.9	35 5.4	7 1.1
ほとんど当てはまらない	211 100.0	71 33.6	97 46.0	146 69.2	35 16.6	51 24.2	17 8.1	14 6.6	4 1.9
全く当てはまらない	62 100.0	23 37.1	25 40.3	39 62.9	11 17.7	10 16.1	1 1.6	5 8.1	2 3.2
無回答	22 100.0	3 13.6	6 27.3	8 36.4	5 22.7	7 31.8	1 4.5	3 13.6	10 45.5
計	6,023 100.0	2,605 43.3	2,842 47.2	4,396 73.0	1,423 23.6	2,244 37.3	670 11.1	522 8.7	64 1.1

表 85 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	974 88.9	970 88.6	542 49.5	625 57.1	416 38.0	109 10.0	6 0.5
やや当てはまる	2,263 100.0	2,046 90.4	2,009 88.8	1,083 47.9	1,233 54.5	795 35.1	155 6.8	12 0.5
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,561 90.5	1,512 87.7	712 41.3	839 48.7	551 32.0	83 4.8	9 0.5
どちらかという当てはまらない	646 100.0	578 89.5	565 87.5	220 34.1	264 40.9	200 31.0	22 3.4	5 0.8
ほとんど当てはまらない	211 100.0	193 91.5	173 82.0	71 33.6	77 36.5	68 32.2	6 2.8	4 1.9
全く当てはまらない	62 100.0	51 82.3	45 72.6	15 24.2	20 32.3	16 25.8	7 11.3	1 1.6
無回答	22 100.0	10 45.5	11 50.0	10 45.5	8 36.4	7 31.8	2 9.1	10 45.5
計	6,023 100.0	5,413 89.9	5,285 87.7	2,653 44.0	3,066 50.9	2,053 34.1	384 6.4	47 0.8

表 86 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定・事例 4【複数回答】

	計	薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
非常に当てはまる	1,095 100.0	711 64.9	474 43.3	531 48.5	941 85.9	521 47.6	313 28.6	149 13.6	7 0.6
やや当てはまる	2,263 100.0	1,529 67.6	1,014 44.8	986 43.6	1,944 85.9	1,019 45.0	592 26.2	234 10.3	16 0.7
どちらかという当てはまる	1,724 100.0	1,149 66.6	768 44.5	646 37.5	1,449 84.0	682 39.6	403 23.4	139 8.1	9 0.5
どちらかという当てはまらない	646 100.0	447 69.2	266 41.2	203 31.4	540 83.6	223 34.5	124 19.2	32 5.0	6 0.9
ほとんど当てはまらない	211 100.0	148 70.1	92 43.6	61 28.9	169 80.1	70 33.2	34 16.1	14 6.6	4 1.9
全く当てはまらない	62 100.0	41 66.1	26 41.9	23 37.1	44 71.0	19 30.6	9 14.5	6 9.7	1 1.6
無回答	22 100.0	6 27.3	8 36.4	7 31.8	9 40.9	9 40.9	5 22.7	4 18.2	9 40.9
計	6,023 100.0	4,031 66.9	2,648 44.0	2,457 40.8	5,096 84.6	2,543 42.2	1,480 24.6	578 9.6	52 0.9

4) 勤務先別

勤務先によって、看護師の臨床判断や対応についての回答の分布に違いがあった。

表 87 勤務先・事例 1-Q1【複数回答】

	計	薬剤師又は薬剤部に 対応を任せる	医師に対応を任せる	持参薬を一つひとつ調べ、 なぜ内服しているかを カルテ等から情報収集する	グループホームの職員に 内服状況を確認する	内服薬による副作用がない かどうか、患者の状態を 確認する	内服薬による副作用がない かどうか、血液検査結果値 を確認する	内服薬における薬剤の 相互作用を確認する	自身のアセスメント結果を 他職種（医師・薬剤師）と 共有する	その他	無回答
病院	5,366 100.0	2,035 37.9	843 15.7	3,100 57.8	3,310 61.7	3,159 58.9	2,302 42.9	1,901 35.4	3,286 61.2	200 3.7	25 0.5
診療所	83 100.0	18 21.7	7 8.4	62 74.7	68 81.9	69 83.1	57 68.7	42 50.6	71 85.5	4 4.8	- -
訪問看護 ステーション	280 100.0	57 20.4	16 5.7	191 68.2	180 64.3	204 72.9	137 48.9	125 44.6	201 71.8	19 6.8	2 0.7
介護施設	125 100.0	30 24.0	27 21.6	104 83.2	70 56.0	94 75.2	67 53.6	51 40.8	86 68.8	3 2.4	- -
看護系 教育研究機関	68 100.0	11 16.2	2 2.9	46 67.6	52 76.5	49 72.1	48 70.6	36 52.9	51 75.0	6 8.8	- -
その他	101 100.0	26 25.7	11 10.9	62 61.4	69 68.3	70 69.3	55 54.5	53 52.5	71 70.3	4 4.0	2 2.0
計	6,023 100.0	2,177 36.1	906 15.0	3,565 59.2	3,749 62.2	3,645 60.5	2,666 44.3	2,208 36.7	3,766 62.5	236 3.9	29 0.5

表 88 勤務先・事例 1-Q2【複数回答】

	計	血圧の状況	排便の状況	血清マグネシウムの検査の必要性(医師と相談)	コレステロール値	怒りっぽさや不穏症状など	起床時の意識レベルやふらつきの有無	睡眠の状況	消化器症状の有無	その他	無回答
病院	5,366 100.0	5,137 95.7	5,007 93.3	2,045 38.1	2,453 45.7	4,509 84.0	4,459 83.1	4,951 92.3	3,695 68.9	437 8.1	22 0.4
診療所	83 100.0	82 98.8	81 97.6	47 56.6	61 73.5	78 94.0	74 89.2	81 97.6	66 79.5	17 20.5	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	272 97.1	271 96.8	147 52.5	154 55.0	264 94.3	250 89.3	270 96.4	221 78.9	48 17.1	2 0.7
介護施設	125 100.0	122 97.6	115 92.0	53 42.4	64 51.2	113 90.4	105 84.0	122 97.6	90 72.0	13 10.4	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	64 94.1	61 89.7	35 51.5	43 63.2	59 86.8	61 89.7	62 91.2	54 79.4	17 25.0	1 1.5
その他	101 100.0	95 94.1	92 91.1	53 52.5	60 59.4	79 78.2	87 86.1	93 92.1	77 76.2	11 10.9	2 2.0
計	6,023 100.0	5,772 95.8	5,627 93.4	2,380 39.5	2,835 47.1	5,102 84.7	5,036 83.6	5,579 92.6	4,203 69.8	543 9.0	27 0.4

表 89 勤務先・事例 2-Q1【複数回答】

	計	頭痛が緩和する時の状況及び増悪する時の状況	随伴症状の有無	術中の麻酔の種類、使用薬剤	現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤	喫煙歴	妊娠歴	手術部位の状態(観察)	その他	無回答
病院	5,366 100.0	5,098 95.0	5,089 94.8	4,094 76.3	3,391 63.2	1,624 30.3	814 15.2	4,090 76.2	521 9.7	22 0.4
診療所	83 100.0	81 97.6	81 97.6	70 84.3	60 72.3	23 27.7	14 16.9	72 86.7	13 15.7	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	268 95.7	271 96.8	234 83.6	202 72.1	110 39.3	68 24.3	225 80.4	38 13.6	2 0.7
介護施設	125 100.0	121 96.8	118 94.4	90 72.0	83 66.4	34 27.2	20 16.0	102 81.6	10 8.0	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	66 97.1	64 94.1	55 80.9	49 72.1	20 29.4	14 20.6	55 80.9	15 22.1	1 1.5
その他	101 100.0	90 89.1	95 94.1	88 87.1	59 58.4	35 34.7	21 20.8	78 77.2	12 11.9	2 2.0
計	6,023 100.0	5,724 95.0	5,718 94.9	4,631 76.9	3,844 63.8	1,846 30.6	951 15.8	4,622 76.7	609 10.1	27 0.4

表 90 勤務先・事例 2-Q2【複数回答】

	計	現段階で急変の可能性は かなり低い	入院前からの頭痛が術後に 出現した可能性がある	麻酔による頭痛の 可能性がある	喫煙歴による頭痛の 可能性がある	今後の生活への不安等の影響に よる頭痛の可能性はある	その他	無回答
病院	5,366 100.0	1,393 26.0	3,480 64.9	3,542 66.0	1,695 31.6	1,549 28.9	643 12.0	38 0.7
診療所	83 100.0	24 28.9	60 72.3	64 77.1	43 51.8	38 45.8	15 18.1	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	69 24.6	177 63.2	193 68.9	104 37.1	100 35.7	45 16.1	4 1.4
介護施設	125 100.0	30 24.0	83 66.4	85 68.0	40 32.0	53 42.4	14 11.2	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	15 22.1	46 67.6	41 60.3	27 39.7	20 29.4	14 20.6	1 1.5
その他	101 100.0	29 28.7	66 65.3	60 59.4	45 44.6	42 41.6	14 13.9	2 2.0
計	6,023 100.0	1,560 25.9	3,912 65.0	3,985 66.2	1,954 32.4	1,802 29.9	745 12.4	45 0.7

表 91 勤務先・事例 2-Q3【複数回答】

	計	ロキソプロフェン錠を 投与する前に 医師に相談する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与する	疼痛時の指示に基づき ロキソプロフェン錠を 投与するか医師に確認する	水分摂取を促す、深呼吸を 繰り返す、枕の高さを調整する など、薬剤以外の頭痛緩和の 方法を患者に伝える	その他	無回答
病院	5,366 100.0	1,583 29.5	1,986 37.0	2,246 41.9	4,091 76.2	290 5.4	31 0.6
診療所	83 100.0	27 32.5	28 33.7	39 47.0	74 89.2	11 13.3	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	79 28.2	78 27.9	143 51.1	231 82.5	15 5.4	3 1.1
介護施設	125 100.0	35 28.0	34 27.2	67 53.6	105 84.0	5 4.0	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	26 38.2	20 29.4	25 36.8	56 82.4	7 10.3	1 1.5
その他	101 100.0	23 22.8	35 34.7	43 42.6	85 84.2	5 5.0	3 3.0
計	6,023 100.0	1,773 29.4	2,181 36.2	2,563 42.6	4,642 77.1	333 5.5	38 0.6

表 92 勤務先・事例 2-Q4【複数回答】

	計	方法			タイミング		その他	無回答
		痛みが軽減されたか否かを聞く	患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する	痛みの程度をスケールで確認する	次のラウンド時に痛みの程度を確認する	薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する		
病院	5,366 100.0	4,565 85.1	3,950 73.6	5,014 93.4	2,129 39.7	3,584 66.8	229 4.3	29 0.5
診療所	83 100.0	71 85.5	74 89.2	79 95.2	31 37.3	64 77.1	9 10.8	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	238 85.0	211 75.4	258 92.1	98 35.0	212 75.7	23 8.2	4 1.4
介護施設	125 100.0	109 87.2	92 73.6	111 88.8	45 36.0	78 62.4	6 4.8	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	58 85.3	54 79.4	65 95.6	26 38.2	56 82.4	6 8.8	1 1.5
その他	101 100.0	72 71.3	74 73.3	89 88.1	27 26.7	76 75.2	9 8.9	2 2.0
計	6,023 100.0	5,113 84.9	4,455 74.0	5,616 93.2	2,356 39.1	4,070 67.6	282 4.7	36 0.6

表 93 勤務先・事例 3-Q1【複数回答】

	計	意識レベルを確認する	せん妄か否かを確認する	スクリーニング検査を行う デンバー式発達	投与されている薬剤を確認する	MCフィルターの穿刺部位の状況を確認する	尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する	頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う	直近の血液検査データを 確認する	その他	無回答
病院	5,366 100.0	4,361 81.3	5,012 93.4	283 5.3	4,349 81.0	3,825 71.3	3,251 60.6	3,016 56.2	3,380 63.0	236 4.4	33 0.6
診療所	83 100.0	65 78.3	80 96.4	2 2.4	75 90.4	71 85.5	60 72.3	53 63.9	58 69.9	5 6.0	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	220 78.6	271 96.8	11 3.9	244 87.1	225 80.4	195 69.6	177 63.2	183 65.4	18 6.4	3 1.1
介護施設	125 100.0	99 79.2	121 96.8	3 2.4	109 87.2	89 71.2	68 54.4	72 57.6	70 56.0	6 4.8	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	63 92.6	63 92.6	4 5.9	58 85.3	56 82.4	45 66.2	40 58.8	54 79.4	12 17.6	1 1.5
その他	101 100.0	77 76.2	93 92.1	10 9.9	84 83.2	81 80.2	67 66.3	56 55.4	68 67.3	6 5.9	2 2.0
計	6,023 100.0	4,885 81.1	5,640 93.6	313 5.2	4,919 81.7	4,347 72.2	3,686 61.2	3,414 56.7	3,813 63.3	283 4.7	39 0.6

表 94 勤務先・事例 3-Q2【複数回答】

	計	すぐに医師に報告する	次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する	環境整備をする	静脈留置カテーテル挿入の準備をする	医師に血液検査の必要性について確認する	医師に血液培養検査の必要性について確認する	その他	無回答
病院	5,366 100.0	2,261 42.1	2,498 46.6	3,937 73.4	1,283 23.9	1,984 37.0	595 11.1	463 8.6	55 1.0
診療所	83 100.0	49 59.0	42 50.6	61 73.5	24 28.9	34 41.0	13 15.7	11 13.3	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	140 50.0	146 52.1	195 69.6	57 20.4	102 36.4	23 8.2	23 8.2	5 1.8
介護施設	125 100.0	63 50.4	78 62.4	84 67.2	19 15.2	47 37.6	13 10.4	6 4.8	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	38 55.9	32 47.1	51 75.0	16 23.5	38 55.9	7 10.3	8 11.8	2 2.9
その他	101 100.0	54 53.5	46 45.5	68 67.3	24 23.8	39 38.6	19 18.8	11 10.9	2 2.0
計	6,023 100.0	2,605 43.3	2,842 47.2	4,396 73.0	1,423 23.6	2,244 37.3	670 11.1	522 8.7	64 1.1

表 95 勤務先・事例 3-Q3【複数回答】

	計	高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の一つであるから	高齢者であることは術後せん妄のリスク要因の一つであるから	せん妄の原因の一つとして、感染の可能性が挙げられるから	高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから	感染のリスクが高い状態にあるから	その他	無回答
病院	5,366 100.0	4,831 90.0	4,717 87.9	2,324 43.3	2,676 49.9	1,822 34.0	341 6.4	39 0.7
診療所	83 100.0	74 89.2	71 85.5	42 50.6	57 68.7	29 34.9	6 7.2	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	246 87.9	239 85.4	147 52.5	160 57.1	103 36.8	14 5.0	4 1.4
介護施設	125 100.0	114 91.2	114 91.2	58 46.4	75 60.0	36 28.8	7 5.6	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	59 86.8	60 88.2	34 50.0	38 55.9	19 27.9	12 17.6	2 2.9
その他	101 100.0	89 88.1	84 83.2	48 47.5	60 59.4	44 43.6	4 4.0	2 2.0
計	6,023 100.0	5,413 89.9	5,285 87.7	2,653 44.0	3,066 50.9	2,053 34.1	384 6.4	47 0.8

表 96 勤務先・事例 4【複数回答】

	計	薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める	かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める	ガイドラインなどに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える	内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える	生物学的製剤の副作用について説明する	自己負担額が今までより増えることを伝える	その他	無回答
病院	5,366 100.0	3,584 66.8	2,360 44.0	2,133 39.8	4,526 84.3	2,260 42.1	1,293 24.1	468 8.7	46 0.9
診療所	83 100.0	60 72.3	35 42.2	51 61.4	76 91.6	43 51.8	26 31.3	14 16.9	- -
訪問看護ステーション	280 100.0	183 65.4	119 42.5	145 51.8	246 87.9	112 40.0	73 26.1	57 20.4	4 1.4
介護施設	125 100.0	89 71.2	65 52.0	51 40.8	105 84.0	52 41.6	35 28.0	10 8.0	- -
看護系教育研究機関	68 100.0	42 61.8	27 39.7	33 48.5	58 85.3	34 50.0	20 29.4	17 25.0	1 1.5
その他	101 100.0	73 72.3	42 41.6	44 43.6	85 84.2	42 41.6	33 32.7	12 11.9	1 1.0
計	6,023 100.0	4,031 66.9	2,648 44.0	2,457 40.8	5,096 84.6	2,543 42.2	1,480 24.6	578 9.6	52 0.9

4. 属性別の看護実践の自己評価

1) 通算臨床経験年数別

通算臨床経験年数が長いほど「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」の総得点の平均値が高かった。

表 97 通算臨床経験年数別の「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
5年目以下 (n=561)	125.1	16.7	16.2	19.7	18.3	17.1	19.1	17.9
6～9年目 (n=346)	130.2	17.7	17.5	20.0	18.3	17.7	19.6	19.5
10～14年目 (n=642)	131.4	18.5	18.0	20.3	17.9	17.4	19.6	19.9
15～19年目 (n=771)	134.3	19.0	18.4	20.6	18.4	17.7	19.9	20.3
20～24年目 (n=1,043)	135.5	19.1	18.4	20.8	18.5	18.1	20.2	20.4
25～29年目 (n=927)	136.5	19.3	18.5	21.0	18.6	18.2	20.4	20.6
30年目以上 (n=1,379)	138.6	19.7	18.5	21.2	19.0	18.8	20.6	20.9
無回答 (n=6)	143.8	19.2	19.2	21.8	20.5	19.8	21.7	21.7
全体 (n=5,675)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は35～175点、各下位尺度は5～25点

2) 大学院修了状況別

「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の平均値は、大学院博士課程修了者が最も高く、次いで大学院修士課程修了者が高かった。

表 98 大学院修了状況別の「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
なし (n=4,583)	133.2	18.7	17.9	20.5	18.4	17.8	19.9	20.0
大学院修士課程 (n=795)	141.4	20.1	19.1	21.6	19.3	19.0	21.0	21.2
大学院博士課程 (n=42)	149.2	21.4	20.0	22.4	20.5	20.7	22.3	21.8
無回答 (n=287)	133.7	18.8	17.8	20.5	18.3	18.3	20.1	20.0
全体 (n=5,675)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

3) 教育・研修修了／認定資格取得状況別

(1) 教育・研修修了／認定資格取得状況別

「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の平均値は、専門看護師が最も高く、次いで NP 教育課程修了者が高かった。

表 99 教育・研修修了／認定資格取得状況別の「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連統的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
専門看護師 (n=350)	143.8	20.4	18.9	22.3	20.0	19.4	21.6	21.4
認定看護師 (n=2,479)	136.6	19.3	18.4	21.0	18.6	18.3	20.4	20.6
特定行為研修修了者 (n=332)	134.1	18.7	18.4	20.3	18.3	17.7	20.0	20.6
NP 教育課程修了者 (n=136)	140.4	20.4	20.4	21.1	18.7	18.3	20.5	21.1
なし (n=2,380)	130.6	18.1	17.5	20.1	18.3	17.6	19.5	19.5
全体 (n=5,677)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

(2) 認定看護師における特定行為研修修了状況別

認定看護師における「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の平均値は、特定行為研修を修了していない者に比べて、特定行為研修修了者の方が高かった。

表 100 認定看護師における特定行為研修修了状況別の「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連統的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
認定看護師・特定行為研修修了あり (n=856)	137.1	19.3	18.7	21.0	18.6	18.3	20.4	20.7
認定看護師・特定行為研修修了なし (n=1,623)	136.3	19.3	18.2	21.1	18.6	18.3	20.5	20.5
全体 (n=2,479)	136.6	19.3	18.4	21.0	18.6	18.3	20.4	20.6

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

4) 学習活動の状況別

(1) 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があるか

「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」の総得点の平均値は、実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会があると回答した看護師ほど高い傾向が見られた。

表 101 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会別の「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
非常に当てはまる (n=828)	144.3	20.5	19.3	22.0	19.8	19.5	21.6	21.5
やや当てはまる (n=1,899)	137.8	19.3	18.6	21.1	18.9	18.6	20.6	20.7
どちらかという 当てはまる (n=1,821)	131.1	18.3	17.7	20.2	18.2	17.5	19.5	19.7
どちらかという 当てはまらない (n=676)	127.7	17.9	17.0	19.8	17.6	17.0	19.0	19.3
ほとんど 当てはまらない (n=364)	127.1	18.1	17.2	20.0	17.3	16.4	19.0	19.1
全く 当てはまらない (n=86)	120.5	16.9	16.3	18.5	16.7	16.3	17.8	18.1
無回答 (n=1)	140.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
全体 (n=5,675)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

(2) 主体的に自己研鑽の目標と計画を設定しているか

「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の平均値は、主体的に自己研鑽の目標と計画を設定していると回答した看護師ほど高かった。

表 102 主体的な自己研鑽の目標と計画の設定別の「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
非常に当てはまる (n=1,024)	146.0	20.8	19.8	22.1	20.0	19.8	21.7	21.9
やや当てはまる (n=2,142)	137.5	19.3	18.5	21.1	18.9	18.5	20.5	20.6
どちらかという 当てはまる (n=1,652)	129.4	18.0	17.3	20.0	17.9	17.3	19.4	19.4
どちらかという 当てはまらない (n=599)	124.0	17.3	16.6	19.4	17.2	16.3	18.6	18.6
ほとんど 当てはまらない (n=194)	121.4	16.9	16.4	18.9	16.8	16.0	18.2	18.2
全く 当てはまらない (n=53)	113.2	16.1	14.8	17.8	15.7	15.1	17.0	16.8
無回答 (n=11)	129.9	18.4	17.2	20.2	17.9	17.9	19.0	19.4
全体 (n=5,675)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

5) 勤務先別

「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」の総得点の平均値は、看護系教育研究機関に所属する看護師が最も高く、次いで訪問看護ステーションに所属する看護師が高かった。

表 103 勤務先別の「看護実践の卓越性自己評価尺度－病棟看護師用－」得点

	平均 総得点	平均下位尺度得点						
		下位尺度Ⅰ【連続的・効率的な情報の収集と活用】	下位尺度Ⅱ【臨床の場の特徴を反映した専門的知識・技術の活用】	下位尺度Ⅲ【患者・家族との関係の維持・発展につながるコミュニケーション】	下位尺度Ⅳ【職場環境・患者個々の持つ悪条件の克服】	下位尺度Ⅴ【現状に潜む問題の明確化と解決に向けた創造性の発揮】	下位尺度Ⅵ【患者の人格尊重と尊厳の遵守】	下位尺度Ⅶ【医療チームの一員としての複数役割の発見と同時進行】
病院 (n=5,060)	133.6	18.7	18.1	20.6	18.4	17.9	19.9	20.1
診療所 (n=78)	138.9	19.7	18.2	21.5	19.1	18.3	21.1	21.0
訪問看護ステーション (n=261)	145.1	20.5	18.7	22.0	19.7	20.0	22.6	21.5
介護施設 (n=120)	132.9	18.3	16.3	20.8	18.4	18.6	20.3	20.2
看護系教育研究機関 (n=62)	145.4	20.9	19.7	22.2	19.9	19.8	21.7	21.3
その他 (n=94)	140.2	19.6	18.4	21.2	19.5	19.5	21.1	20.9
全体 (n=5,675)	134.4	18.9	18.1	20.7	18.5	18.0	20.1	20.2

※総得点は 35～175 点、各下位尺度は 5～25 点

III. 統計表

統計表1 通算臨床経験年数・看護師基礎教育を受けた学校種別

	計	看護師 2年課程	看護短期 大学	看護師養成 所	看護師5年 一貫 教育校	大学	無回答
5年目以下	608 100.0	11 1.8	15 2.5	198 32.6	25 4.1	359 59.0	- -
6～9年目	371 100.0	13 3.5	7 1.9	148 39.9	22 5.9	181 48.8	- -
10～14年目	667 100.0	54 8.1	32 4.8	308 46.2	24 3.6	249 37.3	- -
15～19年目	819 100.0	90 11.0	62 7.6	413 50.4	32 3.9	222 27.1	- -
20～24年目	1,107 100.0	194 17.5	148 13.4	598 54.0	16 1.4	150 13.6	1 0.1
25～29年目	968 100.0	173 17.9	125 12.9	606 62.6	16 1.7	47 4.9	1 0.1
30年目以上	1,470 100.0	361 24.6	155 10.5	916 62.3	15 1.0	23 1.6	- -
無回答	13 100.0	1 7.7	3 23.1	2 15.4	- -	2 15.4	5 38.5
計	6,023 100.0	897 14.9	547 9.1	3,189 52.9	150 2.5	1,233 20.5	7 0.1

統計表2 大学院修了状況【複数回答】・通算臨床経験年数

	計	5年目 以下	6～9年 目	10～14年 目	15～19年 目	20～24年 目	25～29年 目	30年目 以上	無回答
なし	4,852 100.0	571 11.8	334 6.9	564 11.6	662 13.6	877 18.1	760 15.7	1079 22.2	5 0.1
大学院修士課程	847 100.0	17 2.0	24 2.8	80 9.4	119 14.0	171 20.2	149 17.6	286 33.8	1 0.1
大学院博士課程	48 100.0	1 2.1	1 2.1	3 6.3	6 12.5	14 29.2	6 12.5	17 35.4	- -
無回答	312 100.0	19 6.1	13 4.2	23 7.4	38 12.2	57 18.3	59 18.9	96 30.8	7 2.2
計	6,023 100.0	608 10.1	371 6.2	667 11.1	819 13.6	1,107 18.4	968 16.1	1,470 24.4	13 0.2

統計表3 大学院修了状況【複数回答】・実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかという 当てはまる	どちらかという 当てはまらない	ほとんど 当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
なし	4,852 100.0	650 13.4	1,593 32.8	1,609 33.2	583 12.0	330 6.8	83 1.7	4 0.1
大学院修士課程	847 100.0	203 24.0	322 38.0	196 23.1	79 9.3	40 4.7	6 0.7	1 0.1
大学院博士課程	48 100.0	18 37.5	15 31.3	10 20.8	3 6.3	- -	1 2.1	1 2.1
無回答	312 100.0	34 10.9	92 29.5	107 34.3	48 15.4	19 6.1	5 1.6	7 2.2
計	6,023 100.0	892 14.8	2,011 33.4	1,914 31.8	710 11.8	389 6.5	95 1.6	12 0.2

統計表4 大学院修了状況【複数回答】・主体的な自己研鑽の目標と計画の設定

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかという 当てはまる	どちらかという 当てはまらない	ほとんど 当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
なし	4,852 100.0	778 16.0	1,797 37.0	1,459 30.1	569 11.7	181 3.7	57 1.2	11 0.2
大学院修士課程	847 100.0	273 32.2	345 40.7	169 20.0	38 4.5	18 2.1	2 0.2	2 0.2
大学院博士課程	48 100.0	19 39.6	17 35.4	9 18.8	1 2.1	- -	1 2.1	1 2.1
無回答	312 100.0	38 12.2	118 37.8	95 30.4	38 12.2	12 3.8	2 0.6	9 2.9
計	6,023 100.0	1,095 18.2	2,263 37.6	1,724 28.6	646 10.7	211 3.5	62 1.0	22 0.4

統計表5 教育・研修修了／認定資格取得状況・看護師基礎教育を受けた学校種別

	計	看護師 2年課程	看護短期 大学	看護師 養成所	看護師5 年一貫 教育校	大学	無回答
専門看護師	376 100.0	40 10.6	50 13.3	146 38.8	1 0.3	139 37.0	- -
認定看護師	2,603 100.0	479 18.4	293 11.3	1,523 58.5	47 1.8	259 10.0	2 0.1
特定行為研修修了者	351 100.0	41 11.7	20 5.7	184 52.4	12 3.4	93 26.5	1 0.3
NP教育課程修了者	141 100.0	17 12.1	12 8.5	67 47.5	3 2.1	42 29.8	- -
なし	2,554 100.0	320 12.5	172 6.7	1,270 49.7	87 3.4	701 27.4	4 0.2
計	6,025 100.0	897 14.9	547 9.1	3,190 52.9	150 2.5	1,234 20.5	7 0.1

統計表6 教育・研修修了／認定資格取得状況・大学院修了状況【複数回答】

	計	なし	大学院 修士課程	大学院 博士課程	無回答
専門看護師	376 100.0	- -	376 100.0	28 7.4	- -
認定看護師	2,603 100.0	2,269 87.2	164 6.3	6 0.2	166 6.4
特定行為研修修了者	351 100.0	311 88.6	19 5.4	- -	21 6.0
NP教育課程修了者	141 100.0	- -	141 100.0	4 2.8	- -
なし	2,554 100.0	2,272 89.0	149 5.8	10 0.4	125 4.9
計	6,025 100.0	4,852 80.5	849 14.1	48 0.8	312 5.2

統計表7 教育・研修修了／認定資格取得状況・通算臨床経験年数

	計	5年目以下	6～9年目	10～14年目	15～19年目	20～24年目	25～29年目	30年目以上	無回答
専門看護師	376 100.0	- -	7 1.9	37 9.8	65 17.3	96 25.5	66 17.6	104 27.7	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	- -	15 0.6	213 8.2	397 15.3	616 23.7	602 23.1	756 29.0	4 0.2
特定行為研修修了者	351 100.0	- -	47 13.4	82 23.4	67 19.1	74 21.1	39 11.1	41 11.7	1 0.3
NP教育課程修了者	141 100.0	- -	6 4.3	26 18.4	32 22.7	33 23.4	19 13.5	25 17.7	- -
なし	2,554 100.0	608 23.8	296 11.6	309 12.1	259 10.1	288 11.3	242 9.5	545 21.3	7 0.3
計	6,025 100.0	608 10.1	371 6.2	667 11.1	820 13.6	1,107 18.4	968 16.1	1,471 24.4	13 0.2

統計表8 教育・研修修了／認定資格取得状況・実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかという 当りはまる	どちらかという 当てはまる	当てはまる ほうが多い	全く当てはまらない	無回答
専門看護師	376 100.0	101 26.9	144 38.3	84 22.3	30 8.0	15 4.0	1 0.3	1 0.3
認定看護師	2,603 100.0	442 17.0	896 34.4	751 28.9	291 11.2	182 7.0	40 1.5	1 0.0
特定行為研修修了者	351 100.0	48 13.7	116 33.0	114 32.5	45 12.8	21 6.0	6 1.7	1 0.3
NP教育課程修了者	141 100.0	29 20.6	47 33.3	35 24.8	17 12.1	12 8.5	1 0.7	- -
なし	2,554 100.0	272 10.6	809 31.7	930 36.4	327 12.8	160 6.3	47 1.8	9 0.4
計	6,025 100.0	892 14.8	2,012 33.4	1,914 31.8	710 11.8	390 6.5	95 1.6	12 0.2

統計表9 教育・研修修了／認定資格取得状況・主体的な自己研鑽の目標と計画の設定

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	ほとんど当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
専門看護師	376 100.0	126 33.5	152 40.4	73 19.4	12 3.2	10 2.7	1 0.3	2 0.5
認定看護師	2,603 100.0	609 23.4	1,126 43.3	634 24.4	177 6.8	39 1.5	12 0.5	6 0.2
特定行為研修修了者	351 100.0	69 19.7	132 37.6	110 31.3	31 8.8	5 1.4	3 0.9	1 0.3
NP 教育課程修了者	141 100.0	54 38.3	45 31.9	30 21.3	8 5.7	4 2.8	- -	- -
なし	2,554 100.0	238 9.3	808 31.6	877 34.3	418 16.4	154 6.0	46 1.8	13 0.5
計	6,025 100.0	1,096 18.2	2,263 37.6	1,724 28.6	646 10.7	212 3.5	62 1.0	22 0.4

統計表10 教育・研修修了／認定資格取得状況・勤務先

	計	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護施設	看護系教育研究機関	その他
専門看護師	376 100.0	303 80.6	7 1.9	20 5.3	11 2.9	25 6.6	10 2.7
認定看護師	2,603 100.0	2,275 87.4	47 1.8	178 6.8	32 1.2	23 0.9	48 1.8
特定行為研修修了者	351 100.0	300 85.5	10 2.8	28 8.0	6 1.7	1 0.3	6 1.7
NP 教育課程修了者	141 100.0	125 88.7	5 3.5	3 2.1	1 0.7	4 2.8	3 2.1
なし	2,554 100.0	2,365 92.6	14 0.5	51 2.0	75 2.9	15 0.6	34 1.3
計	6,025 100.0	5,368 89.1	83 1.4	280 4.6	125 2.1	68 1.1	101 1.7

統計表11 教育・研修修了／認定資格取得状況・職位

	計	管理職（主任、 看護師長、看護 部長、所長、 施設長等）	非管理職
専門看護師	376 100.0	180 47.9	196 52.1
認定看護師	2,603 100.0	1,521 58.4	1,082 41.6
特定行為研修修了者	351 100.0	133 37.9	218 62.1
NP 教育課程修了者	141 100.0	51 36.2	90 63.8
なし	2,554 100.0	784 30.7	1,770 69.3
計	6,025 100.0	2,669 44.3	3,356 55.7

統計表12 認定看護師における特定行為研修修了状況・大学院修了状況【複数回答】

	計	なし	大学院修士課程	大学院博士課程	無回答
認定看護師・ 特定行為研修修了あり	908 100.0	819 90.2	44 4.8	2 0.2	43 4.7
認定看護師・ 特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,450 85.5	120 7.1	4 0.2	123 7.3
計	2,603 100.0	2,269 87.2	164 6.3	6 0.2	166 6.4

統計表13 認定看護師における特定行為研修修了状況・通算臨床経験年数

	計	5年目以下	6～9年目	10～14年目	15～19年目	20～24年目	25～29年目	30年目以上	無回答
認定看護師・ 特定行為研修修了あり	908 100.0	-	9 1.0	115 12.7	183 20.2	233 25.7	189 20.8	178 19.6	1 0.1
認定看護師・ 特定行為研修修了なし	1,695 100.0	-	6 0.4	98 5.8	214 12.6	383 22.6	413 24.4	578 34.1	3 0.2
計	2,603 100.0	-	15 0.6	213 8.2	397 15.3	616 23.7	602 23.1	756 29.0	4 0.2

統計表14 認定看護師における特定行為研修修了状況・実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかというとき当てはまる	どちらかというとき当てはまらない	ほとんど当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	169 18.6	329 36.2	242 26.7	101 11.1	58 6.4	9 1.0	- -
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	273 16.1	567 33.5	509 30.0	190 11.2	124 7.3	31 1.8	1 0.1
計	2,603 100.0	442 17.0	896 34.4	751 28.9	291 11.2	182 7.0	40 1.5	1 0.0

統計表15 認定看護師における特定行為研修修了状況・主体的な自己研鑽の目標と計画の設定

	計	非常に当てはまる	やや当てはまる	どちらかというとき当てはまる	どちらかというとき当てはまらない	ほとんど当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	247 27.2	409 45.0	193 21.3	48 5.3	6 0.7	4 0.4	1 0.1
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	362 21.4	717 42.3	441 26.0	129 7.6	33 1.9	8 0.5	5 0.3
計	2,603 100.0	609 23.4	1,126 43.3	634 24.4	177 6.8	39 1.5	12 0.5	6 0.2

統計表16 認定看護師における特定行為研修修了状況・勤務先

	計	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護施設	看護系教育研究機関	その他
認定看護師・特定行為研修修了あり	908 100.0	844 93.0	9 1.0	34 3.7	4 0.4	7 0.8	10 1.1
認定看護師・特定行為研修修了なし	1,695 100.0	1,431 84.4	38 2.2	144 8.5	28 1.7	16 0.9	38 2.2
計	2,603 100.0	2,275 87.4	47 1.8	178 6.8	32 1.2	23 0.9	48 1.8

統計表17 認定看護師における特定行為研修修了状況・職位

	計	管理職（主任、 看護師長、看護 部長、所長、 施設長等）	非管理職
認定看護師・ 特定行為研修修了あり	908 100.0	550 60.6	358 39.4
認定看護師・ 特定行為研修修了なし	1,695 100.0	971 57.3	724 42.7
計	2,603 100.0	1,521 58.4	1,082 41.6

IV. 質問紙

本調査はウェブを用いて実施した。
従って、実際の調査票とは見た目上の差異があるが、内容は同一である。

看護師の臨床判断能力と影響要因に関する調査

調査概要説明及び以下の事項をご確認いただき、回答にご協力いただける場合は、回答にお進みください。

■調査へのご協力について

- ・本調査は自由意思によるご協力をお願いするものであり、ご協力いただけない場合であっても不利益が生じることはございません。
- ・回答の送信までは同意を撤回し、回答を中止することが可能です。ただし、Web 調査のため、送信後は回答の追加・修正、削除、同意の撤回はできません。
- ・回答いただいたデータは統計的な処理を行い、回答者のお名前やご所属先が特定されることはございません。

■回答について

- ・問 1～6（24 問と尺度 35 項目）の回答時間（目安）は 30 分程度です。
- ・質問の選択肢には、単回答（回答は 1 つ）と複数回答（あてはまるものすべてに回答）があります。
- ・回答を終了した前の質問に戻ることはできません。
- ・質問の中には、事例（状況設定）への対応に関する質問があります。本調査は看護師の現場での判断や対応を把握するためのものであり、回答者個人の臨床判断能力を評価するものではなく、また正誤があるものではありません。
- ・回答画面 1 画面につき 60 分を超えると自動的にタイムアウトします。回答を保存することはできないため、回答を中断する場合には、60 分を超えずに再開して次の画面へ遷移するようお願いいたします。

問 1. ご自身のことについてお伺いします。

1-1. 年齢をお答えください。

_____ 歳

1-2. 日本看護協会への入会状況をお答えください。

①会員である ②会員ではない

1-3. 取得されている免許をすべてお答えください。

①保健師 ②助産師 ③看護師 ④准看護師

1-4. 看護師としての通算臨床経験年数は何年目になりますか。

(臨床以外の勤務年数や産休・育休等の期間は含みません)

※最初に看護職員として入職した年を「1年目」としてお答えください。

_____ 年目

1-5. 教育背景についてお伺いします。

1) 看護師基礎教育を受けた学校をお答えください。

※看護師国家試験の受験資格を得た学校養成所を指します。例えば、看護師養成所を卒業後、大学を卒業している場合には、③看護師養成所とお答えください。

①看護師2年課程(准看護師取得後の課程) ②看護短期大学 ③看護師養成所(看護専門学校等) ④看護師5年一貫教育校 ⑤大学

2) 大学院修了の有無をお答えください。大学院を修了している場合は、修了している課程(看護系以外の大学院も含む)をすべてお答えください。

①なし ②大学院修士課程(看護系) ③大学院修士課程(看護系以外)
④大学院博士課程(看護系) ⑤大学院博士課程(看護系以外)

1-6. 看護師免許取得後の教育・研修、認定資格取得についてお伺いします。

1) 以下のうち、現在取得されている認定資格、または特定行為研修及びNP教育課程については修了している教育・研修をすべてお答えください。

①専門看護師 ②認定看護師 ③認定看護管理者 ④特定行為研修 ⑤NP教育課程
⑥なし

1-7. あなたの学習活動についてお伺いします。あてはまるものをお答えください。

1) 実践した看護や事例を同僚や多職種等との振り返りを通じて学ぶ機会をもっている。

①非常に当てはまる ②やや当てはまる ③どちらかという当てはまる
④どちらかという当てはまらない ⑤ほとんど当てはまらない
⑥全く当てはまらない

2) 主体的に自己研鑽の目標と計画を決めている。

①非常に当てはまる ②やや当てはまる ③どちらかという当てはまる
④どちらかという当てはまらない ⑤ほとんど当てはまらない
⑥全く当てはまらない

1-8. 就業状況についてお伺いします。

- 1) 現在の勤務先をお答えください。複数所属している場合は、勤務する時間または日数のもっとも多いものを選択してください。

①病院 ②診療所 ③訪問看護ステーション ④学校・幼稚園・保育所
⑤介護老人福祉施設 ⑥介護老人保健施設
⑦ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム ⑧その他の居宅サービス事業所
⑨その他の社会福祉施設 ⑩看護系教育研究機関（養成所、大学等） ⑪その他

- 2) 1)で現在の勤務先を「病院」と回答された方に伺います。病院の設置主体、病床数をお答えください。複数所属している場合は、勤務する時間または日数のもっとも多いものを選択してください。

a. 設置主体

① 国立（労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構を含む）
② 公立（一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む）
③ 日本赤十字社
④ 済生会
⑤ 厚生農業協同組合連合会
⑥ 北海道社会事業協会
⑦ 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
⑧ 公益社団法人、公益財団法人
⑨ 私立学校法人
⑩ 医療法人（社会医療法人を含む）
⑪ 社会福祉法人
⑫ 医療生協
⑬ 会社
⑭ その他の法人（一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等）
⑮ 個人

b. 病床数

①99床以下 ②100～199床 ③200～299床 ④300～399床 ⑤400～499床
⑥500床以上

- 3) 現在の勤務先の所在する都道府県をお答えください。

①北海道 ②青森県 ③岩手県 ④宮城県 ⑤秋田県 ⑥山形県 ⑦福島県 ⑧茨城県
⑨栃木県 ⑩群馬県 ⑪埼玉県 ⑫千葉県 ⑬東京都 ⑭神奈川県 ⑮新潟県
⑯富山県 ⑰石川県 ⑱福井県 ⑲山梨県 ⑳長野県 ㉑岐阜県 ㉒静岡県 ㉓愛知県
㉔三重県 ㉕滋賀県 ㉖京都府 ㉗大阪府 ㉘兵庫県 ㉙奈良県 ㉚和歌山県
㉛鳥取県 ㉜島根県 ㉝岡山県 ㉞広島県 ㉟山口県 ㊱徳島県 ㊲香川県 ㊳愛媛県
㊴高知県 ㊵福岡県 ㊶佐賀県 ㊷長崎県 ㊸熊本県 ㊹大分県 ㊺宮崎県
㊻鹿児島県 ㊼沖縄県

- 4) 現在の勤務先でのご自身の職位にあてはまるものをお答えください。

①管理職（主任、看護師長、看護部長、所長、施設長等）
②非管理職

各設問には看護師のアセスメントや判断が必要な状況が記載されています。状況設定を読み、あなたがその状況で通常行うと考えられる対応をすべて選んでください。なお、本調査は看護師の現場での判断や対応を把握するためのものですので、各設問に正誤はなく、普段のご自身の対応を振り返ってご回答ください。ご自身の所属先や領域では通常、遭遇しないような事例であっても、記載されている情報から判断してお答えいただいても構いません。

問 2.

Mさん、94歳、女性

入院までの経緯

- ・5年前に認知症グループホームに入居。
- ・歩行器を使用し歩行可能であったが、転倒し腰椎圧迫骨折。
- ・保存療法が選択され、本日、リハビリ目的で入院。

既往歴：高血圧（20年前から内服治療）、脂質代謝異常症、便秘症、アルツハイマー型認知症

入院時持参した内服薬：

酸化マグネシウム錠	330 mg	2 錠	毎食後
ニフェジピン除放錠	20 mg	1 錠	朝食後
バルサルタン錠	80 mg	1 錠	朝食後
アトルバスタチン錠	10 mg	1 錠	朝食後
ランソプラゾール口腔内崩壊錠	15mg	1 錠	夕食後
抑肝散エキス顆粒	2.5g/包	1 包	毎食前
トリアゾラム錠	0.25mg	2 錠	寝る前

2-1. 入院時、Mさんが多くの種類の薬剤を内服していることに気づいた。まずあなたが行う対応をすべて選んでください。

- ① 薬剤師又は薬剤部に対応を任せる
- ② 医師に対応を任せる
- ③ 持参薬を一つひとつ調べ、なぜ内服しているかをカルテ等から情報収集する
- ④ グループホームの職員に内服状況を確認する
- ⑤ 内服薬による副作用がないかどうか、患者の状態を確認する
- ⑥ 内服薬による副作用がないかどうか、血液検査結果値を確認する
- ⑦ 内服薬における薬剤の相互作用を確認する
- ⑧ 自身のアセスメント結果を他職種（医師・薬剤師）と共有する
- ⑨ その他（ ）

2-2. あなたが行うアセスメントをすべて選んでください。

- ① 血圧の状況
- ② 排便の状況
- ③ 血清マグネシウムの検査の必要性（医師と相談）
- ④ コレステロール値
- ⑤ 怒りっぽさや不穏症状など
- ⑥ 起床時の意識レベルやふらつきの有無
- ⑦ 睡眠の状況
- ⑧ 消化器症状の有無
- ⑨ その他（ ）

問 3.

Yさん、48歳、女性

- ・入院目的：乳がんのため右乳房摘出術（乳房切除術）を施行予定。
過去に手術を受けたことはない。

【術前】バイタルサイン：BT=36.6℃、PR=60回/分、BP=124/84mmHg、RR=14回/分、SpO2=98%

【術後（現在）】

- ・昨日手術（術後1日目）。
- ・訴え：朝から頭痛を訴えている。
「ズキズキするような痛み」と表現。
痛みの程度はNRS（Numerical Rating Scale）で8/10。
- ・バイタルサイン：BT=36.8℃、PR=66回/分、BP=130/84mmHg、RR=16回/分、SpO2=99%

3-1. あなたが収集する情報をすべて選んでください。

- ① 頭痛が緩和する時及び増悪する時の状況
- ② 随伴症状の有無
- ③ 術中の麻酔の種類、使用薬剤
- ④ 現在内服している及び過去に内服していたすべての薬剤
- ⑤ 喫煙歴
- ⑥ 妊娠歴
- ⑦ 手術部位の状態（観察）
- ⑧ その他（ ）

3-2. Yさんのバイタルサインは術後から現在まで安定している。患者は頭を押さえ、苦悶の表情を浮かべている。

- ・麻酔方法：全身麻酔下での手術。硬膜外麻酔や脊椎麻酔は使用されていない。
- ・術後管理：術後の水分摂取が少ない。
- ・頭痛は入院前から月一回程度あり、ロキソプロフェン Na 錠内服で対応。
- ・入院前まで喫煙（20年間×20本/日）している。
- ・痛みの部位：前頭部を中心とした全体的な痛み。
- ・体位との関連：座位や立位で悪化し、横になると軽減する。
- ・随伴症状：軽い吐き気を伴うが嘔吐なし。光や音に対する過敏性はない。

以上のことから、あなたのアセスメントとして該当するものをすべて選んでください。

- ① 現段階で急変の可能性はかなり低い
- ② 入院前からの頭痛が術後に出現した可能性がある
- ③ 麻酔による頭痛の可能性はある
- ④ 喫煙歴による頭痛の可能性はある
- ⑤ 今後の生活への不安等の影響による頭痛の可能性はある
- ⑥ その他（ ）

3-3. 3-2のアセスメントに基づくあなたの対応をすべて選んでください。なお、Yさんには「疼痛時：ロキソプロフェン Na 錠 60 mg内服」の指示が出ています。

- ① ロキソプロフェン Na 錠を投与する前に医師に相談する
- ② 疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン Na 錠を投与する
- ③ 疼痛時の指示に基づきロキソプロフェン Na 錠を投与するか医師に確認する
- ④ 水分摂取を促す、深呼吸を繰り返す、枕の高さを調整するなど、薬剤以外の頭痛緩和の方法を患者に伝える
- ⑤ その他（ ）

3-4. 医師に確認し、ロキソプロフェン Na 錠 60 mgを投与した。投与後のあなたの対応方法とタイミングとして該当するものをすべて選んでください。

- ① 【方法】痛みが軽減されたか否かを聞く
- ② 【方法】患者の表情から頭痛が軽減されているかを確認する
- ③ 【方法】痛みの程度をスケールで確認する
- ④ 【タイミング】次のラウンド時に痛みの程度を確認する
- ⑤ 【タイミング】薬剤が最高血中濃度に達する時間に痛みの程度を確認する
- ⑥ その他 ()

問 4.

・Sさん、84歳、女性

・昨日入院し、本日、右下肢の深部静脈血栓（DVT）に対し、下大静脈フィルター（IVCフィルター）留置術を受けた

【術前】バイタルサイン：BT=36.4℃、PR=72回/分、BP=142/80mmHg、RR=16回/分、SpO2=96%
見当識障害もなく受け答えも的確

【術後（現在）】バイタルサイン：BT=35.8℃、PR=92回/分、BP=90/60mmHg、RR=20回/分、SpO2=95%
「自分は叔母の家にいる」などの辻褄の合わない発言が聞かれた
尿道留置カテーテル挿入中、人工呼吸器の使用や酸素投与、静脈留置カテーテル挿入はなし

4-1. バイタルサインに加え、あなたが行うアセスメントをすべて選んでください。

- ① 意識レベルを確認する
- ② せん妄か否かを確認する
- ③ デンバー式発達スクリーニング検査を行う
- ④ 投与されている薬剤を確認する
- ⑤ IVCフィルターの穿刺部位の状況を確認する
- ⑥ 尿道留置カテーテルの挿入部位の状況を確認する
- ⑦ 頭からつま先まで、フィジカルアセスメントを行う
- ⑧ 直近の血液検査データを確認する
- ⑨ その他 ()

4-2. IVCフィルターの穿刺部位からの出血は見られなかった。この患者へのあなたの対応をすべて選んでください。

- ① すぐに医師に報告する
- ② 次のラウンド時に再度バイタルサインを測定する
- ③ 環境整備をする
- ④ 静脈留置カテーテル挿入の準備をする
- ⑤ 医師に血液検査の必要性について確認する
- ⑥ 医師に血液培養検査の必要性について確認する
- ⑦ その他 ()

4-3. 4-1 のアセスメント及び 4-2 の対応に至った理由をすべて選んでください。

- ① 高齢者にとって入院による環境の変化はせん妄のリスク要因の 1 つであるから
- ② 高齢であることは術後せん妄のリスク要因の 1 つであるから
- ③ せん妄の原因の 1 つとして、感染の可能性が挙げられるから
- ④ 高齢者においては、発熱がなくても感染症である可能性を否定できないから
- ⑤ 感染のリスクが高い状態にあるから
- ⑥ その他 ()

問 5.

- ・ K さん、84 歳、女性、独居
- ・ 関節リウマチによる炎症が強く、自宅内では介助がなければほとんど歩けない状態
- ・ 日中はリビングの椅子に座って 1 日を過ごしている
- ・ 内服薬：ロキソプロフェン Na 錠 60 mg を 3 回/日、メトトレキサート錠 12m g /週 1 回、葉酸錠 1 mg /週 1 回
- ・ 握力の低下のため、自助具を用いて内服や飲水をしていることについて、「薬を飲むことはつらい。以前はできていたことができなくなったように感じる。」と発言している
- ・ 病状に応じた内服薬の投与量の調整が必要となるため訪問看護が開始
- ・ 主治医は K さんにメトトレキサートからアダリムマブ（遺伝子組換え）（生物学的製剤・2 週に 1 回の皮下注射）に変更することを提案
- ・ これまで薬剤を何とか調整してきたが、急に注射薬に変更することを提案され、意思決定ができない、何をどのように考えたらよいかかわからず、訪問看護師に相談することとした。

5-1. あなたが K さんを訪問した際、主治医からの薬剤変更の提案をどう考えたらよいか聞かれた。あなたの回答をすべて選んでください。

- ① 薬について不明なことがある場合は、医師に相談することを勧める
- ② かかりつけ薬局・薬剤師に相談することを勧める
- ③ ガイドラインなどにに基づき、生物学的製剤の効果が高いことを患者に伝える
- ④ 内服につらさを感じていることに寄り添い、日々の内服薬が減ることを伝える
- ⑤ 生物学的製剤の副作用について説明する
- ⑥ 自己負担額が今までより増えることを伝える
- ⑦ その他 ()

問 6. 以下は「看護実践の卓越性自己評価尺度—病棟看護師用—」（舟島ら, 2009）です。日頃のあなたの看護実践と照らし合わせ、項目 1～35 の該当する欄に○をご記入ください。なお、ご自身の所属先や領域では通常、遭遇しないような場面であっても、あなたならばどのように行うかを判断してお答えいただいても構いません。

	かなり当てはまる	わりに当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
6-1. わずかな情報から問題を察知し、必要な援助を行っている					
6-2. 多様な情報を組み合わせて問題の原因を見極めている					
6-3. 情報を多角的に検討し現実的な問題解決策を提案している					
6-4. 周辺事態を常に観察し必要な援助を随時行っている					
6-5. 短時間に必要な情報を収集しながら見過ごされていた問題も発見している					
6-6. 治療・処置の進行を予測しながら必要な準備を整えている					
6-7. 治療・処置が円滑に進むよう起こりうる多様な状況を想定して準備している					
6-8. 最大効果・最大効率実現につながる方法で複数の重症患者を援助している					
6-9. 熟練度の高い技術を用いて処置を円滑に行っている					
6-10. 無駄のない動きで患者の消耗を最小にしながら日常生活を援助している					
6-11. 共感的態度でコミュニケーションをはかり患者の興奮をはずめている					
6-12. 自己の感情をコントロールしながら患者の問題行動を受け入れている					
6-13. 患者が話しかけやすいように常に穏やかな表情で接している					
6-14. 患者や家族の訴えに親身に耳を傾けて心情の表出を助けている					
6-15. 患者が現実を受け入れられるよう心情に配慮しながら説明している					
6-16. どれほど多くの仕事をかかえていても日常生活を誠実に援助している					
6-17. どれほど多くの仕事をかかえていても患者の依頼に確実に応えている					
6-18. 患者からの頻繁な訴えにも根気よく応じている					
6-19. 拒否的な患者にも粘り強く説得を続け援助の受け入れにつなげている					
6-20. 他者を寄せ付けない患者にも日常生活援助を通し粘り強く関係形成を試みている					
6-21. 習慣化してしまった援助方法を見直し改善をはかっている					

6-22. 単調な日常生活の中に患者が気分転換できる機会をつくり出している					
6-23. 患者が季節感を感じられるような病棟環境を演出している					
6-24. 患者の安全・安楽が高まるように個別状況に応じて手段や物品を工夫している					
6-25. 通常の方法に工夫を加え患者の苦痛軽減につなげている					
6-26. 患者自身の習慣を尊重しながら日常生活を援助している					
6-27. 患者自身の意向を確認しながら日常生活を援助している					
6-28. 患者がその人らしく日々を過ごせるように援助している					
6-29. 患者や家族の希望を最大限取り入れて援助している					
6-30. 患者一人一人に敬意をもって接している					
6-31. 患者に必要な援助を行いつつ家族の心情にも配慮している					
6-32. 他のメンバーの動きを見て自己の果たすべき役割を見いだしている					
6-33. 経験や能力を考慮しながら他のメンバーを支援している					
6-34. 緊急事態に対応しながら他のメンバーへの指示や医師への報告も行っている					
6-35. 他の患者の不安に配慮しながら急変した患者に対応している					

お忙しい中ご協力いただき、まことにありがとうございました。

看護師の臨床判断能力と影響要因に関する調査報告書

2026年3月31日発行

著・発行 公益社団法人日本看護協会

〒150-0001東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL:03-5778-8831 (代) URL:<http://www.nurse.or.jp>

問い合わせ先：公益社団法人日本看護協会

看護開発部教育制度課

TEL: 03-5778-8549

本書の無断複写・掲載は禁じます。